

地域ケア会議開催概要

地域	開催日時	場所	参加者数	事務局
ひのせせらぎ 大坂上中学校地域 第一中学校地域	6/25(月) 14 時～16 時	ふれあいホール	全体：34 名 民生委員：12 名 見守り推進委員：10 名 福祉系事業者：12 名	在宅療養支援課：1 名 高齢福祉課：1 名 地域協働課：1 名 地域戦略室：1 名 都市計画課：4 名 コンサル：6 名
とよだ 大坂上中学校地域 第二中学校地域 第四中学校地域	6/27(水) 14 時～15 時半	日野市役所	全体：29 名 地域包括：29 名	在宅療養支援課：1 名 高齢福祉課：4 名 地域協働課：1 名 地域戦略室：1 名 都市計画課：2 名 コンサル：6 名
たかはた 三沢中学校地域 第三中学校地域	7/4(水) 13 時半～15 時半	日野市立福祉支援 センター	全体：36 名 地域包括ケアマネ：5 名 地域包括看護師：2 名 地域包括社会福祉士：2 名 その他：27 名	在宅療養支援課：1 名 高齢福祉課：4 名 地域戦略室：1 名 都市計画課：5 名 コンサル：6 名
ひの多摩川苑 第一中学校地域 三沢中学校地域 七生中学校地域	7/26(木) 14 時～16 時	マザアス多摩川苑	全体：26 名 民生委員：10 名 地域包括：4 名 福祉系事業者：4 名 社会福祉協議会：1 名 その他：7 名	在宅療養支援課：1 名 高齢福祉課：2 名 都市計画課：5 名 コンサル：6 名
ひらやま 平山中学校地域 第四中学校地域 七生中学校地域	7/31(火) 10 時～12 時	平山李重記念館	全体：46 名 民生委員：17 名 地域包括：13 名 見守り推進委員：10 名 社会福祉協議会：6 名	在宅療養支援課：1 名 高齢福祉課：4 名 地域協働課：1 名 地域戦略室：1 名 都市計画課：5 名 コンサル：6 名

ひのせせらぎ



とよだ



たかはた



ひの多摩川苑



ひらやま



【当日資料】

■配付資料（例：ひのせせらぎ）

- ・次第
- ・資料1 スライド資料
- ・資料2 地域特性データ
- ・アンケート

■テーブル資料（例：ひのせせらぎ）

- ・検討用模造紙（①人口動向、②暮らしやすさ、③安全な暮らし）
- ・参考資料（6歳未満・75歳以上人口動向、旧耐震建物密度）

平成 30 年度 日野市地域包括支援センターせせらぎ
地区連絡会

【日時】6月25日(月) 14:00～16:00

【場所】ふれあいホール 集会室 2-2

次 第

1. 開催挨拶
2. 見守り推進委員登録書授与
3. 懇談会「まちづくりマスタープランと地域ケア会議の連携について」
4. 資料説明(市職員よりせせらぎ地区の現状、マスタープランについて)
5. グループ懇談
6. グループ毎の発表
7. 閉会挨拶

■配布資料

資料1 スライド資料

資料2 地域特性データ

1 .地域ケア会議の連携について

2 .日野市まちづくりマスタープランとは？

…平成15年に作られた日野市まちづくりマスタープランで実現できたもの

3 .グループごとの懇談

4 .今後の工程について

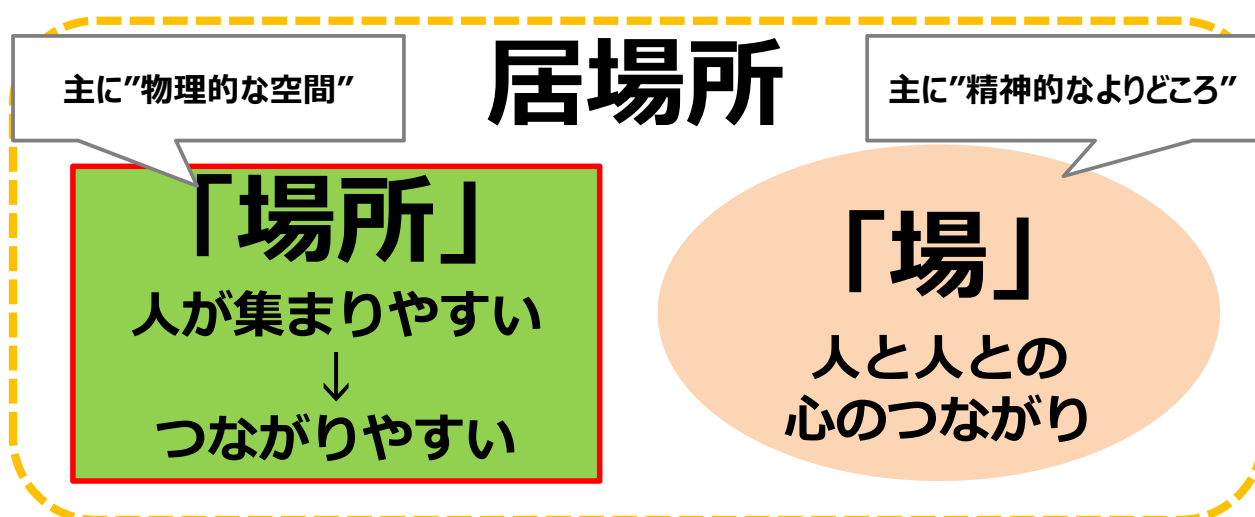
2 地域ケア会議の連携について

2018/6/25



生活する上での意見、市内で活動してきた方々の意見等を頂き、
各種施策に生かせるような機会にしたいと考えています

■「居場所」は、人が集まるとうまれる。



一人ひとりがその居場所の雰囲気を作る

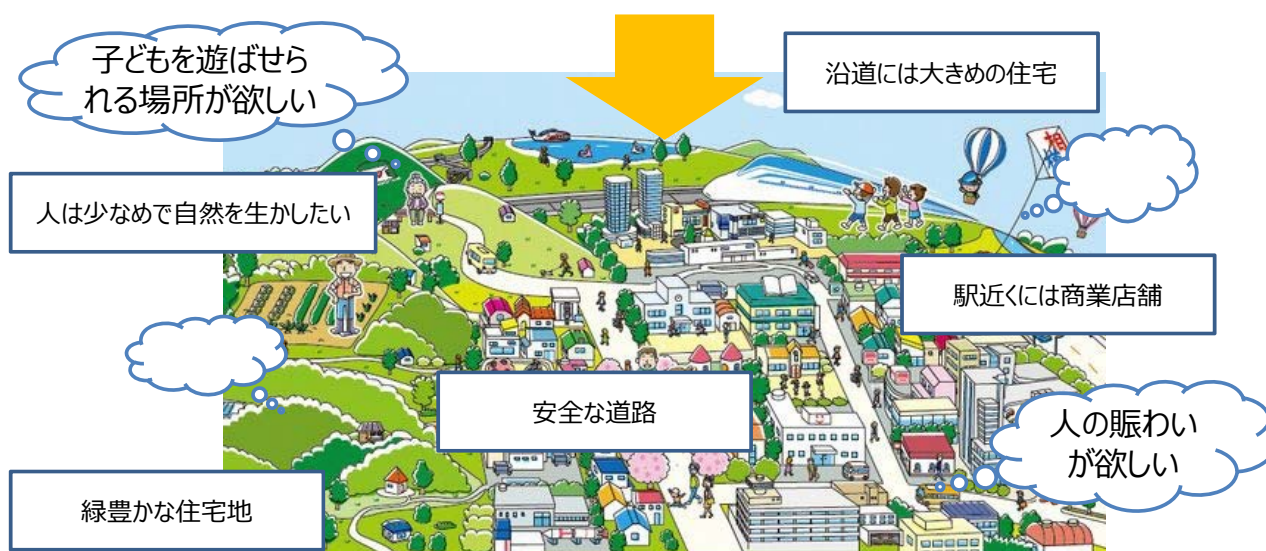


誰かが作り上げるものではない。

必要とする人がみんなで作り上げるもの

■「場所」には様々な種類がある

場所には年代、目的、条件 等によって
様々な特徴や使われ方がある



■例えば、平成15年に作られた今のマスタープランには…

■ふれあいホールは「夢・文化・藝術・スポーツ・子育て・健康」による市民交流の拠点、防災の拠点として利用・活用できる複合施設です。



日野市役所HP 施設案内 市民の森ふれあいホールより

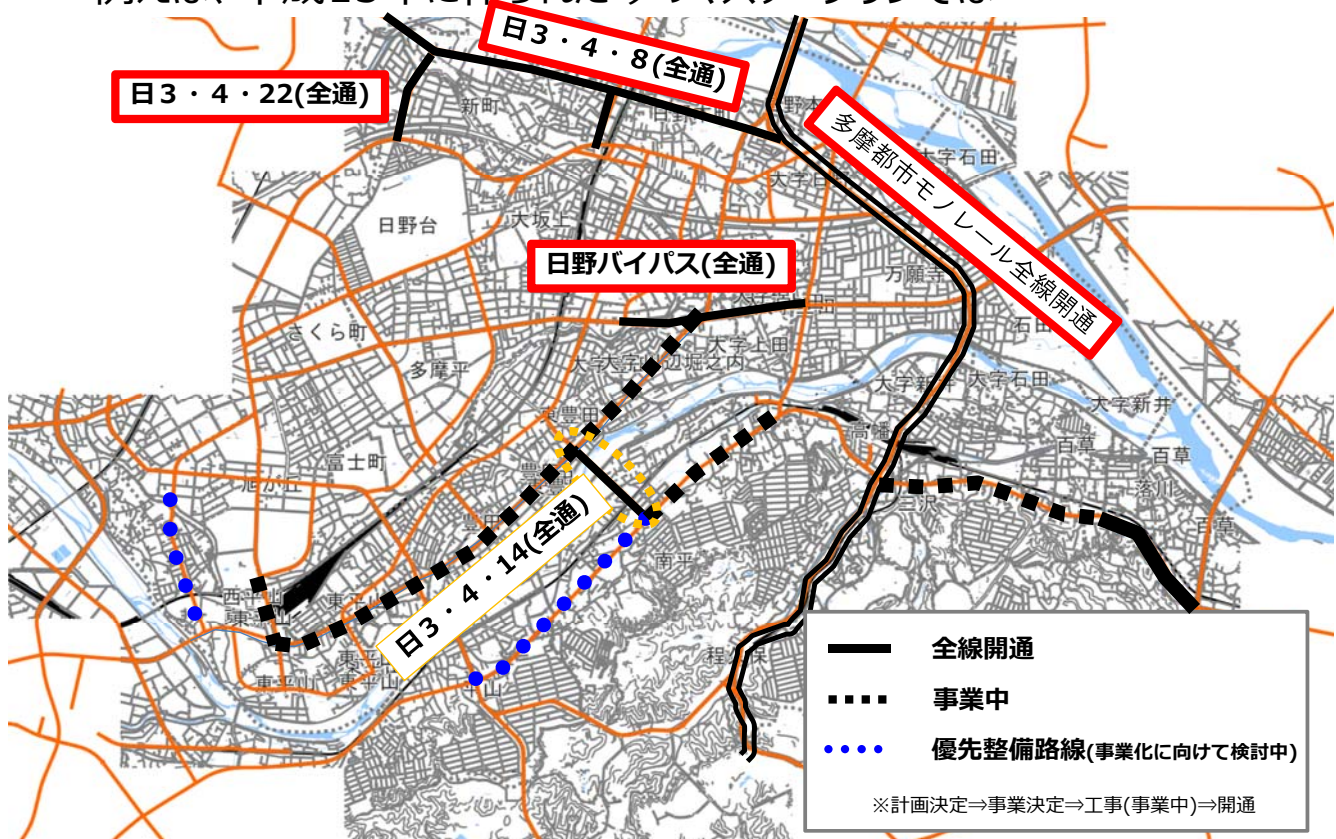
■隣接する市民の森ふれあいホールが2011年3月にオープンしたのに伴い、都市公園として順次整備が行われました。(省略)森は子どもたちの遊び場天国でもありました。



日野市観光協会HP Weekly日野 仲田の森公園より

細かいところまでは決められないが、大まかな方針を伝えられる

■例えば、平成15年に作られた今のマスタープランでは…



■ 例えば、平成15年に作られた今のマスタープランでは…



日野市まちづくりマスタープラン 第五章 地域別構想 東光寺地域より

拠点等の整備するもの、緑や農等の保全すべきものについても記載してある

■ マスタープランに描いておくと

- ・ 実現されるものもあるし、そうでないものもある
- ・ 確かに15、20年先を見越すことは難しい
- ・ とにかくまず描かない限り、実現されることは難しい
- ・ 「場所」(空間、地図、ハード)に影響する計画



生活していたり、市内で活動しているみなさんのご意見をお伺いしたい

少し俯瞰してみてもみる

今自分に必要なものからスタートしても良い。

でもたまには広く、俯瞰して捉えてみる。

そのための客観的なデータをお見せします。

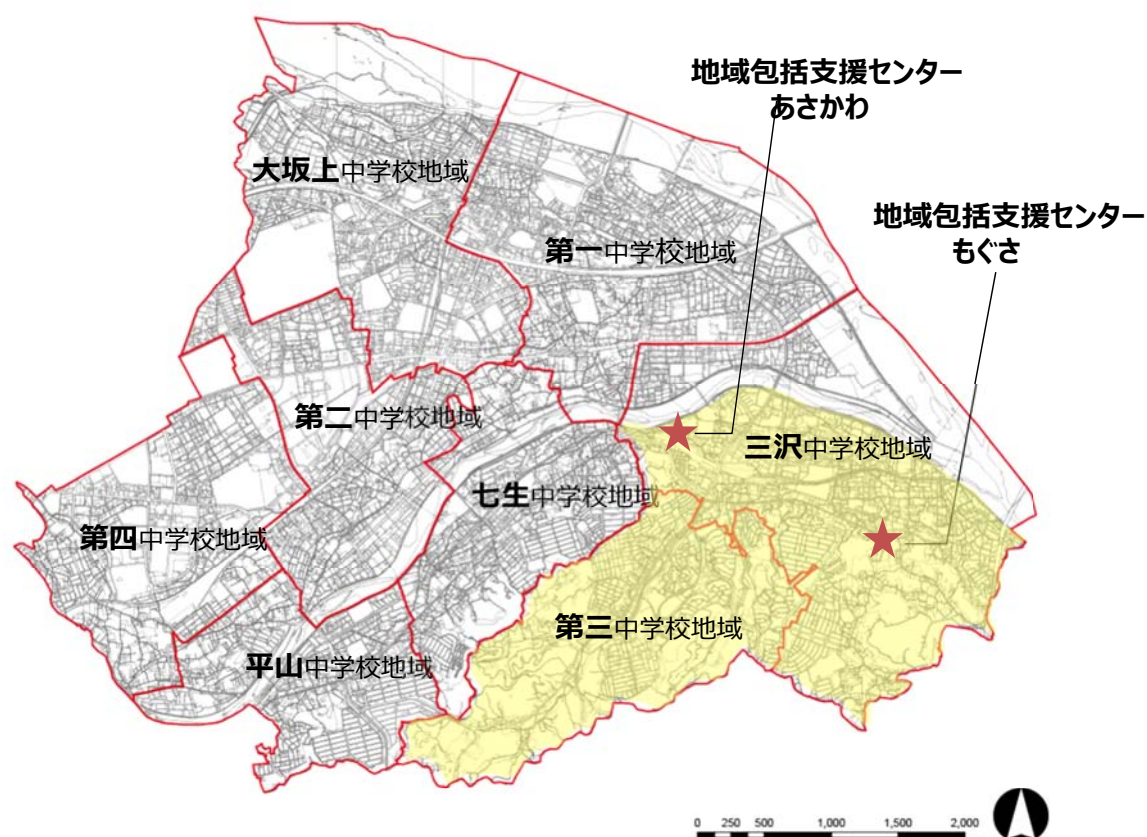
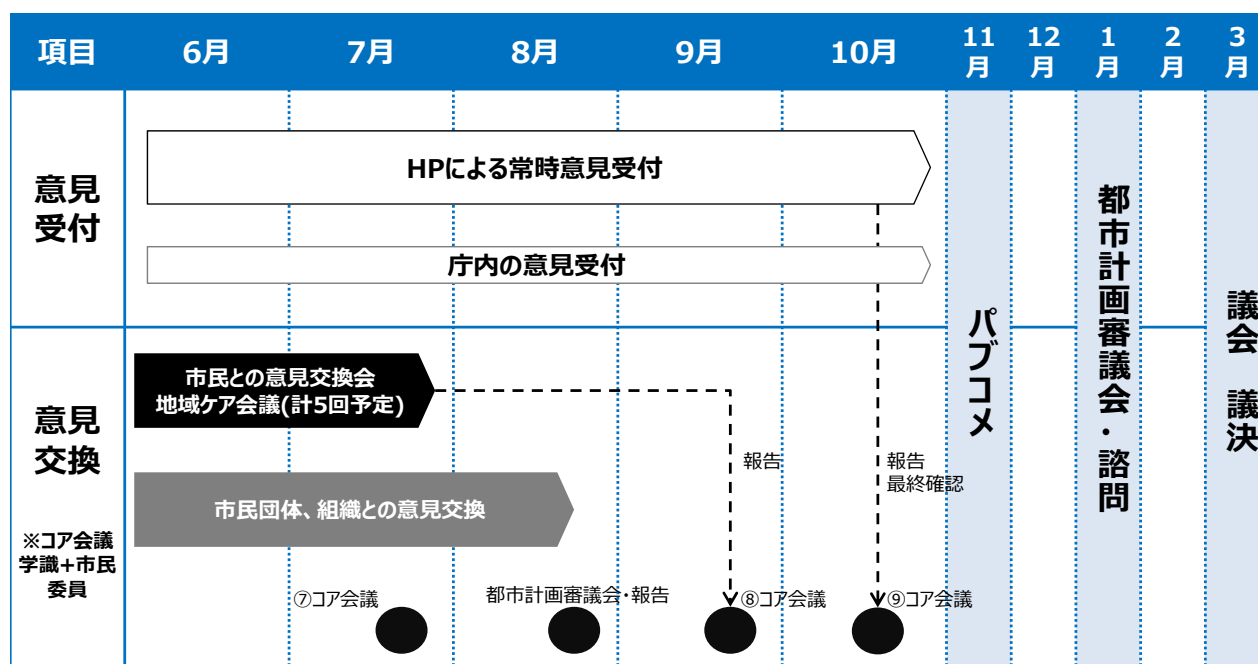
例えば…

- ①人口(高齢者／子ども)の予測
- ②施設やバスルート
- ③防災(土砂災害、風水害、旧耐震住宅)

等

意見交換

これまでに5回のテーマ別意見交換会、各中学校区域(8つ)の地域別意見交換会を実施済み。
10月までに地域ケア会議をはじめとした市民意見交換を行い、10月までに庁内の意見を取りまとめる
予定。
その後、11月にパブリックコメント、2019年1月に都市計画審議会諮問、同年3月議会議決の予定



現行のマスタープランの考え方を原則引き継ぎつつ、社会情勢の変化の大きいテーマを重点的に議論し、新たに目指すべき都市像を設定し、その実現に向けた方策を検討していく

方針 1

日野市の目指す都市像を再定義 『日野市に暮らす価値を高める』

方針 2

- ・持続可能な地域づくり
(例)ないものを作るもの(まち)づくりから、今あるものを使うもの(まち)づかいを検討する
- ・暮らしながら働ける地域づくり
(例)高齢者や子育て世代等の居場所、暮らしを支える働く産業について検討する
- ・歩きたくなるまち、歩いて暮らせるまちづくり
(例)水や緑等をはじめとした地域資源を活かし、健康的な暮らしをデザインする
- ・地域で生き看取られるまちづくり
(例)徒歩や車等生活に必要な交通手段や多様化する暮らしに対応するための多様な施策
- ・安全・安心なまちづくり
(例)頻発する自然災害への防災対策やバリアフリー等様々な人に対するケア

16 ヒント：絵に描いたモチにならないために…

2018/6/25

持続して使われるために必要なことを考える

よく補助金くれと言われますが…その問題力ネさえあれば解決します？

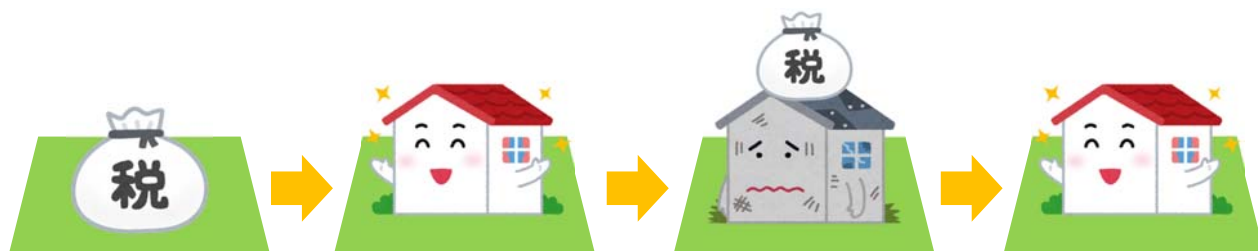
何が必要か？場所？ヒト？モノ？機会？知恵？情報？

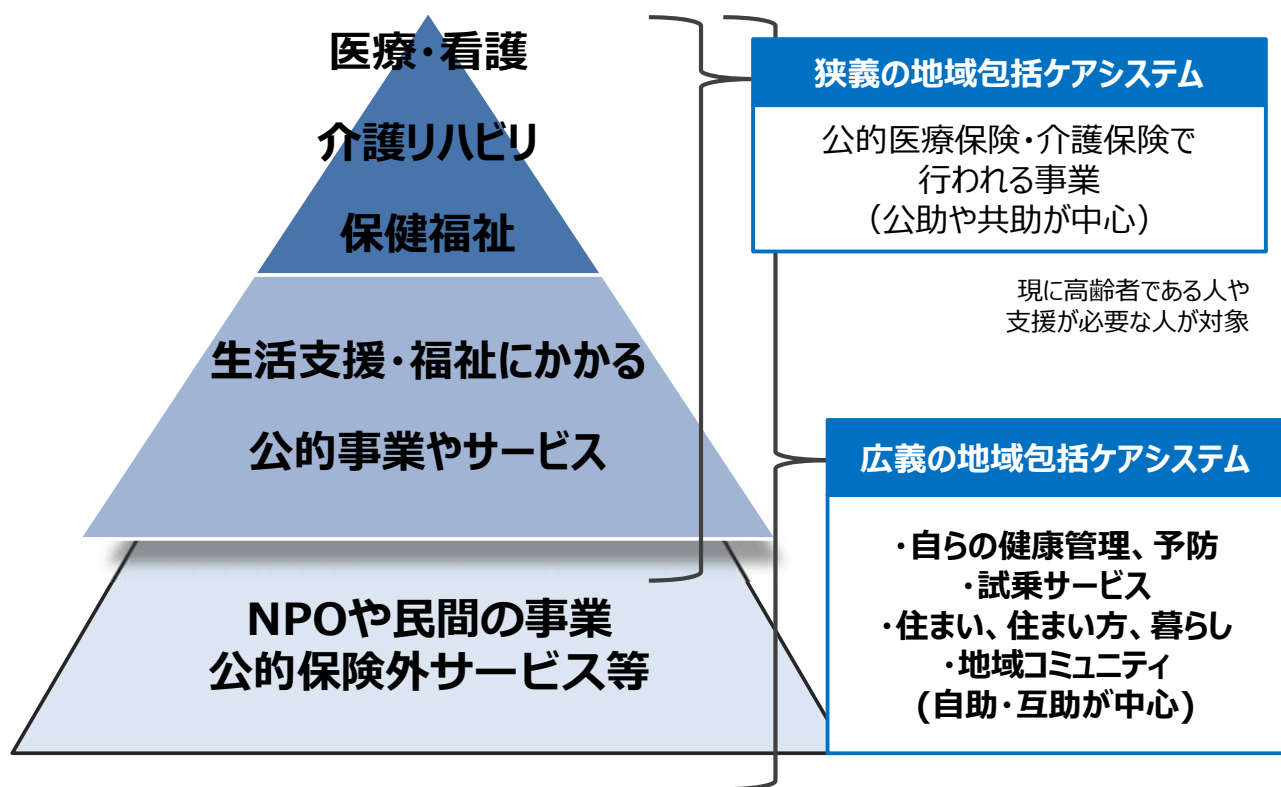
「ないものを作る」から「あるものを使う」選択肢 色んな手段を上手く使い分ける

「場所」は作った時にだけお金がかかるのではなく、

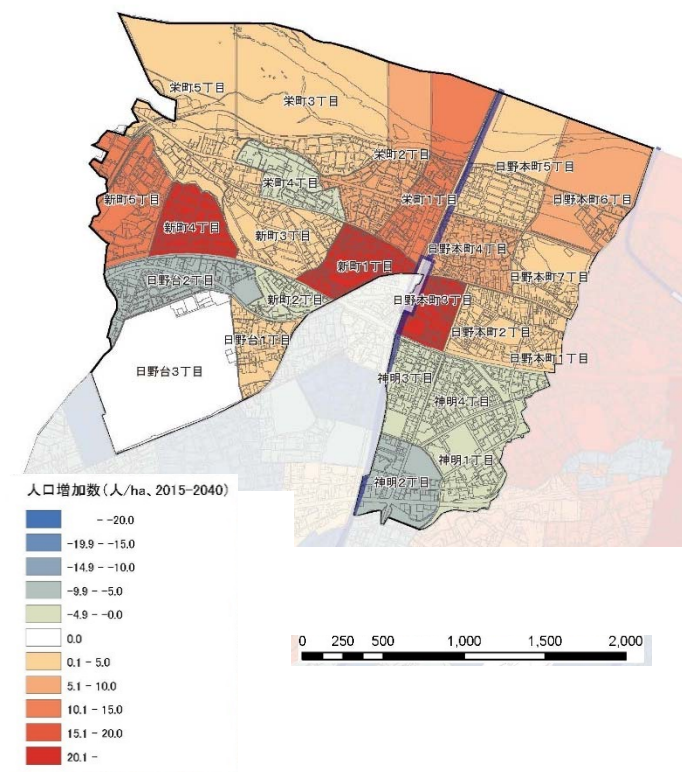
良くも悪くも、

メンテナンスにもお金がかかり続けます(道路、公園、バスも同様に)

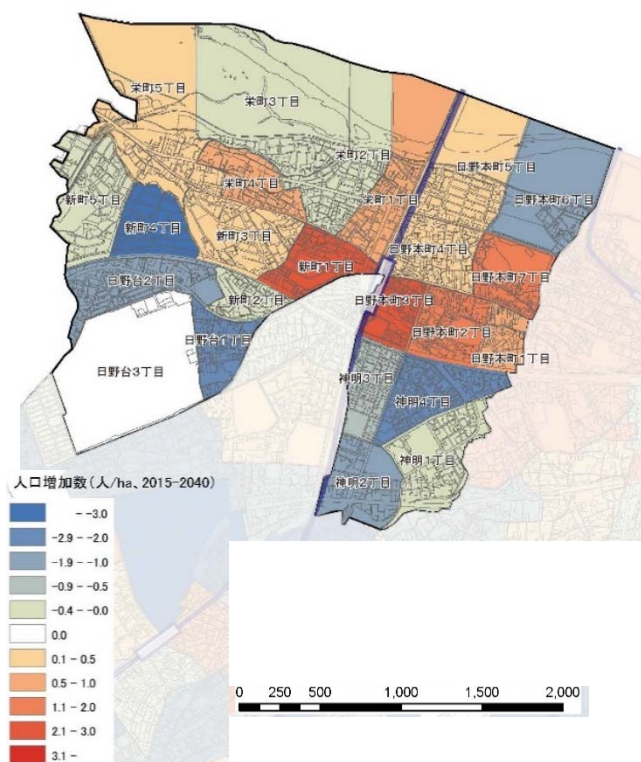




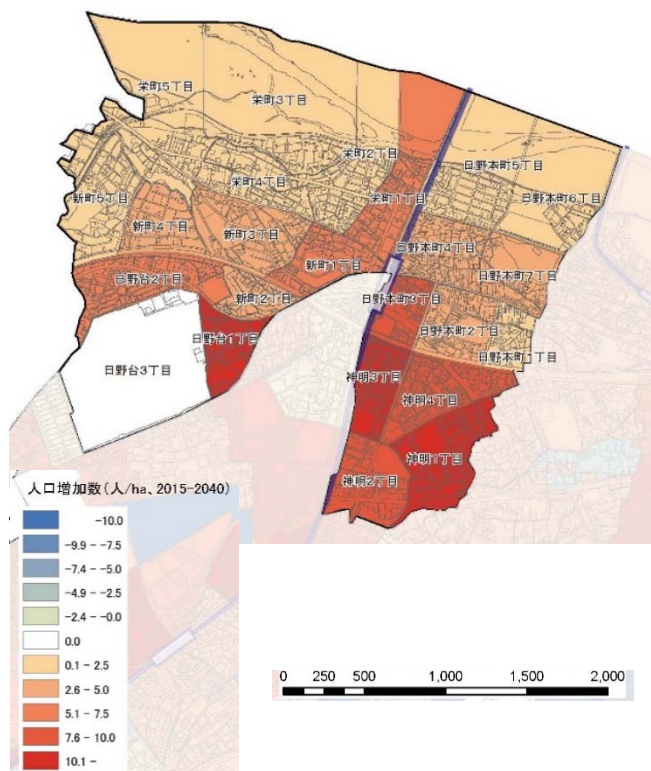
■今後の人口動向（2015～2040 増減推計）



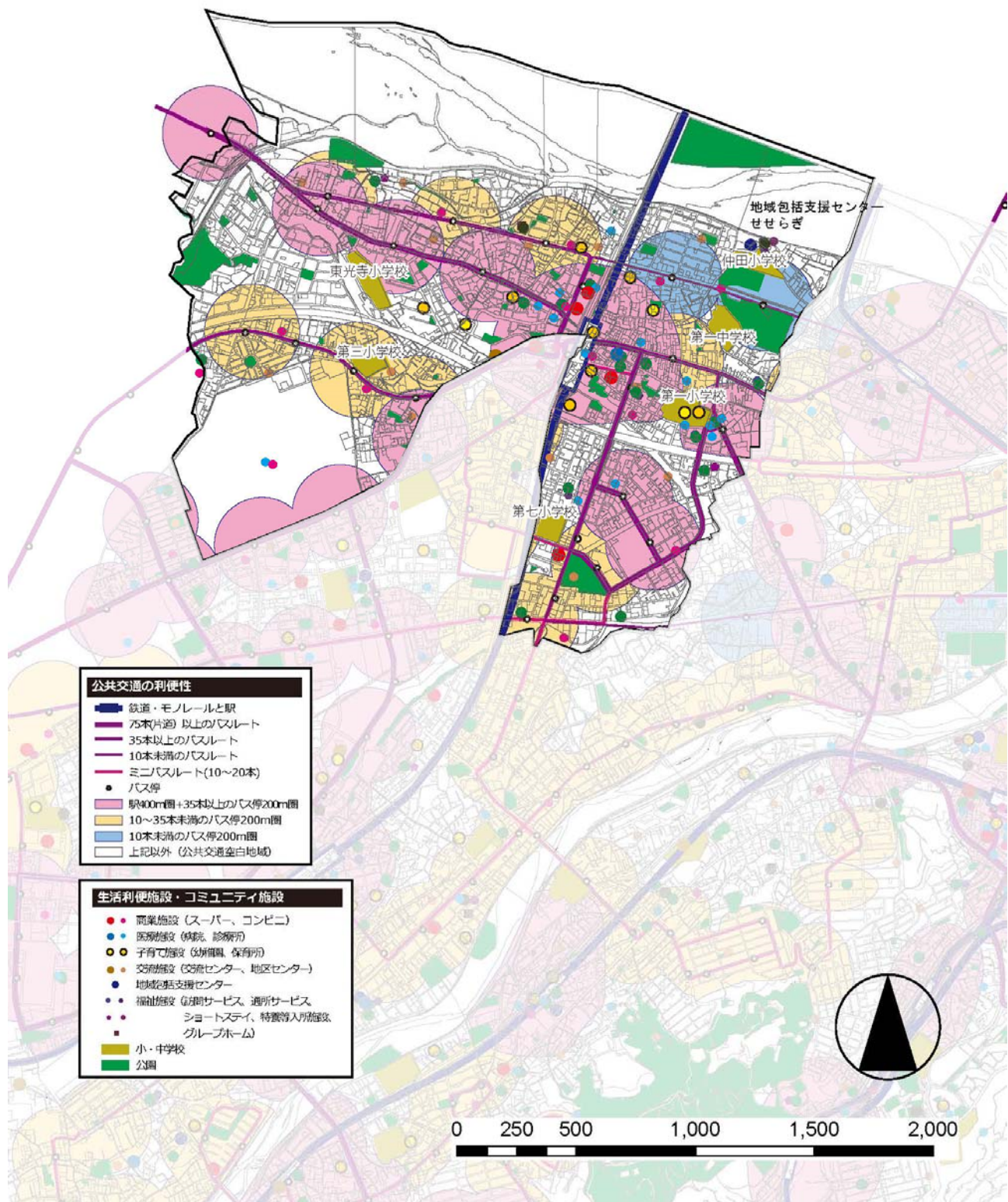
■6歳未満人口増加数（2015～2040 増減推計）



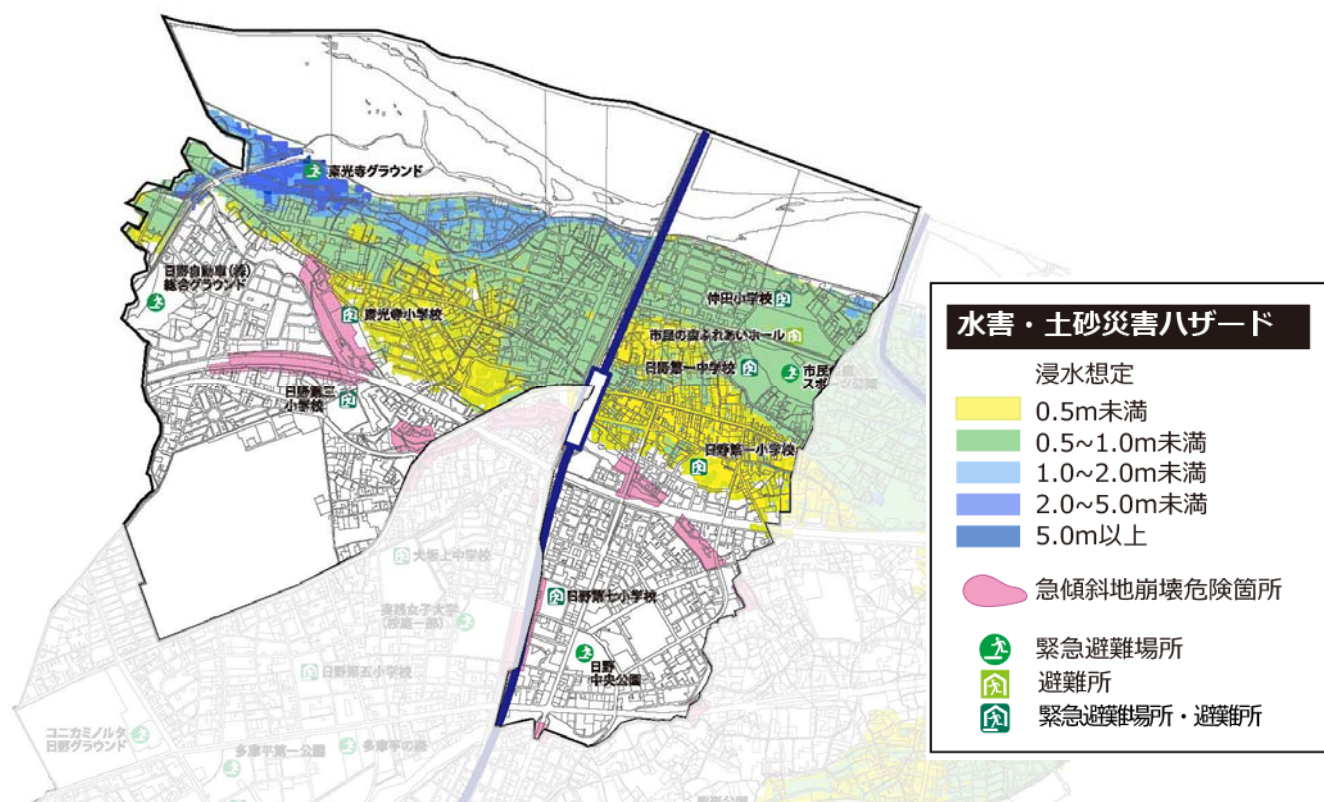
■75歳以上人口増加数（2015～2040 増減推計）



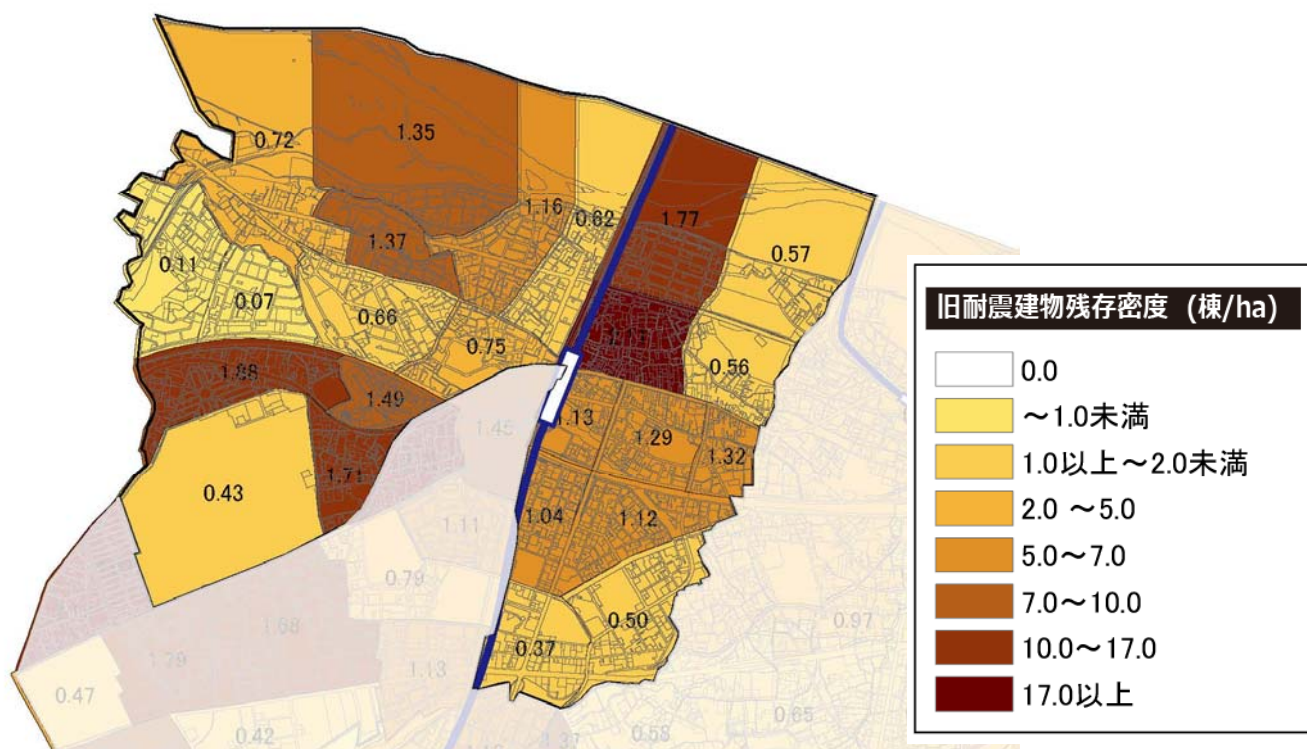
■暮らしやすさ



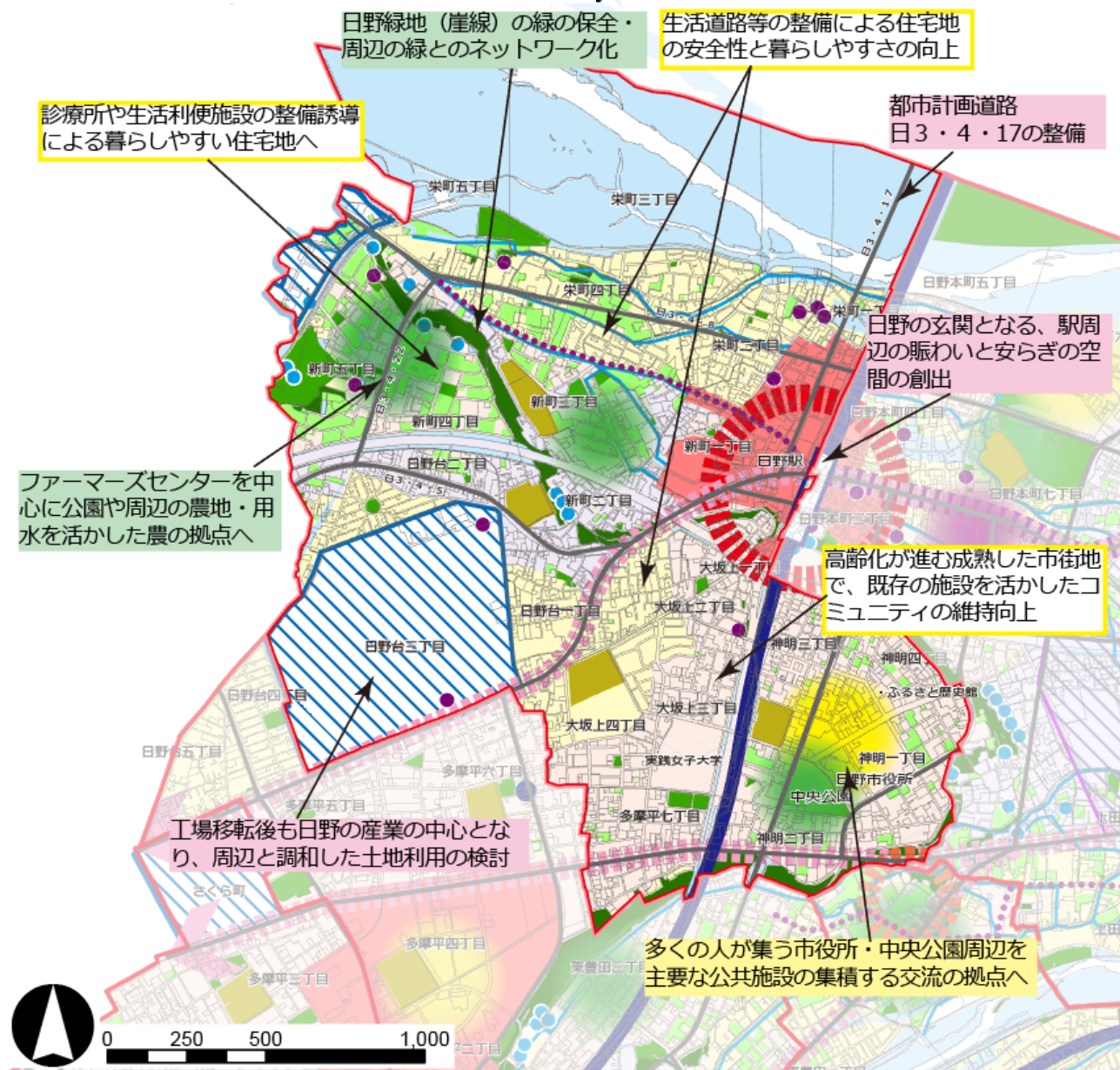
■安全な暮らし



■安全な暮らし＜旧耐震建物密度＞



■大坂上中地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善
(生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上
(区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上
(区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備
(丘陵部の住宅団地)
- 学校（余裕教室の活用等）
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善
(緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

■ 第一中地区 安心した暮らしの現況



記憶と文化を伝える まちをつくる

- 公園の整備と機能の充実
- 農地の保全と活用
- 崖線・多摩丘陵等の緑の保全
- 用水路の維持・保全
- 湧水
- 史跡の保全と活用

暮らしの舞台を支える まちをつくる

- 住環境の整備改善 (生活道路整備・ルールづくりなど)
- 住宅地の価値向上 (区画整理施行中・計画)
- 住環境の維持・向上 (区画整理施行済)
- 住み続けられる環境整備 (丘陵部の住宅団地)
- 学校 (余裕教室の活用等)
- 地域包括支援センター

人々が活発に活動する まちをつくる

- 都市・生活拠点の機能充実
- 沿道の施設誘導
- 操業環境の維持・保全
- 住工混在の改善
- 幹線道路の整備・改善 (緑化・歩きやすい歩行環境整備)
- 生活幹線道路の整備

まちづくりマスタープラン改訂に向けたアンケート

本日は懇談会にご参加いただき、ご参加いただきありがとうございました。

■ 日野市まちづくりマスタープランについてはご理解いただけましたか？

①説明している範囲については分かった ②よく分からなかった

(②よく分からなかった部分 等 自由回答)

■ 本日の懇談会は、今後の自分の行動に何か活かせそうですか？

(お渡ししたデータについて 等 自由回答)

■ マスタープランや、まちづくり部に相談したい、疑問点、ご意見等あればご自由にご記入ください。

(意見が十分に言えなかった。 ●●してほしかった。 等 自由回答)

まちづくり部やまちづくりマスタープランに対する意見であれば、参考にさせていただきます。その他ご意見については、必要に応じて庁内関係課に、ご意見として共有させていただく可能性があります。

■ 差支えなければお名前と連絡先をご記入ください。

(お名前)

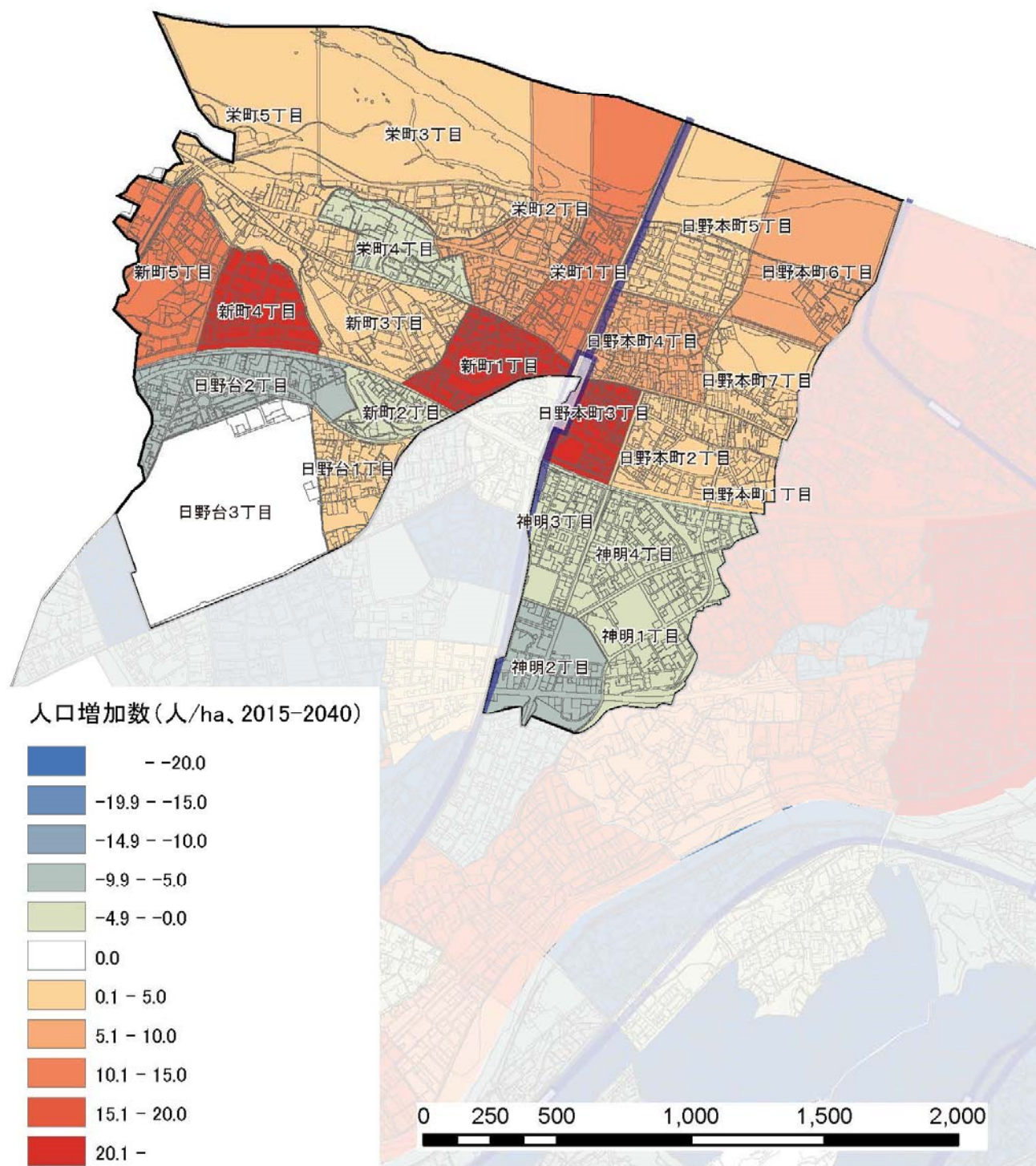
(連絡先)

お名前等のご記入がない場合回答はしかねますのでご了承ください。(記入があっても回答するものではございません。万が一ご意見の詳細や意図等を確認したい場合に、利用させていただきます。)

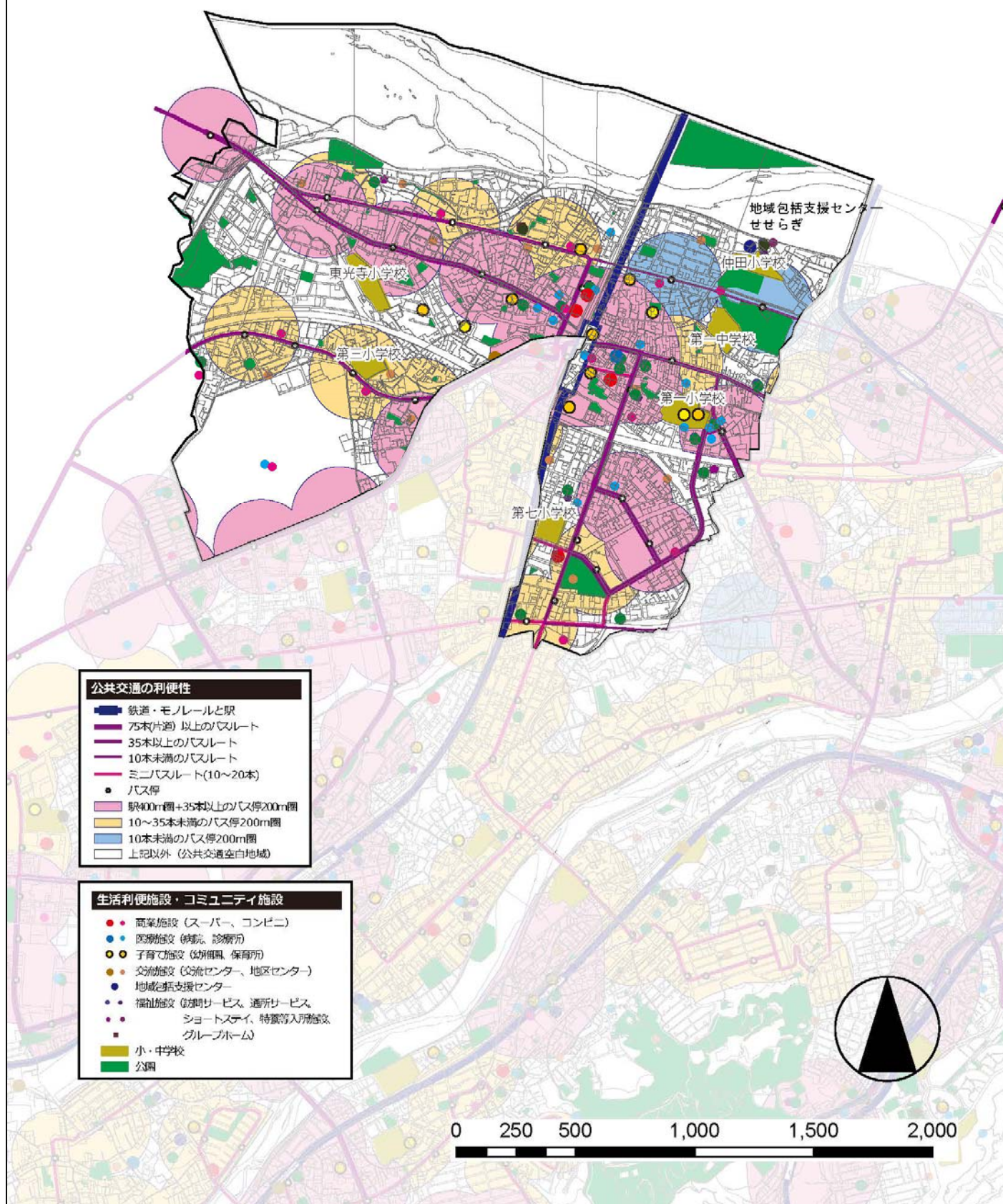
まちづくり部 都市計画課 計画係
氏家

042-514-8354(直通)
tosikei@city.hino.lg.jp

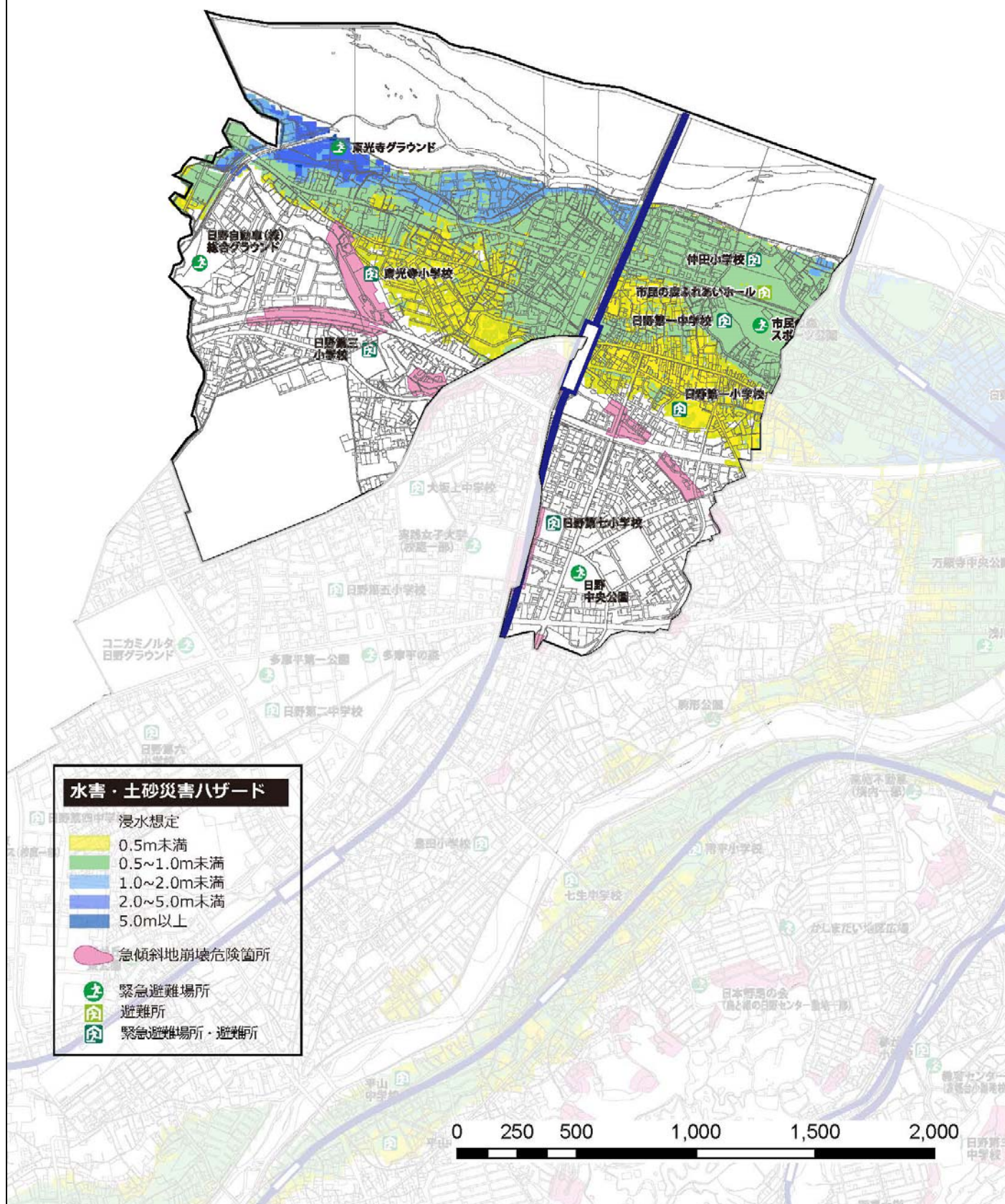
■ 今後の人口動向 (2015～2040の推計)



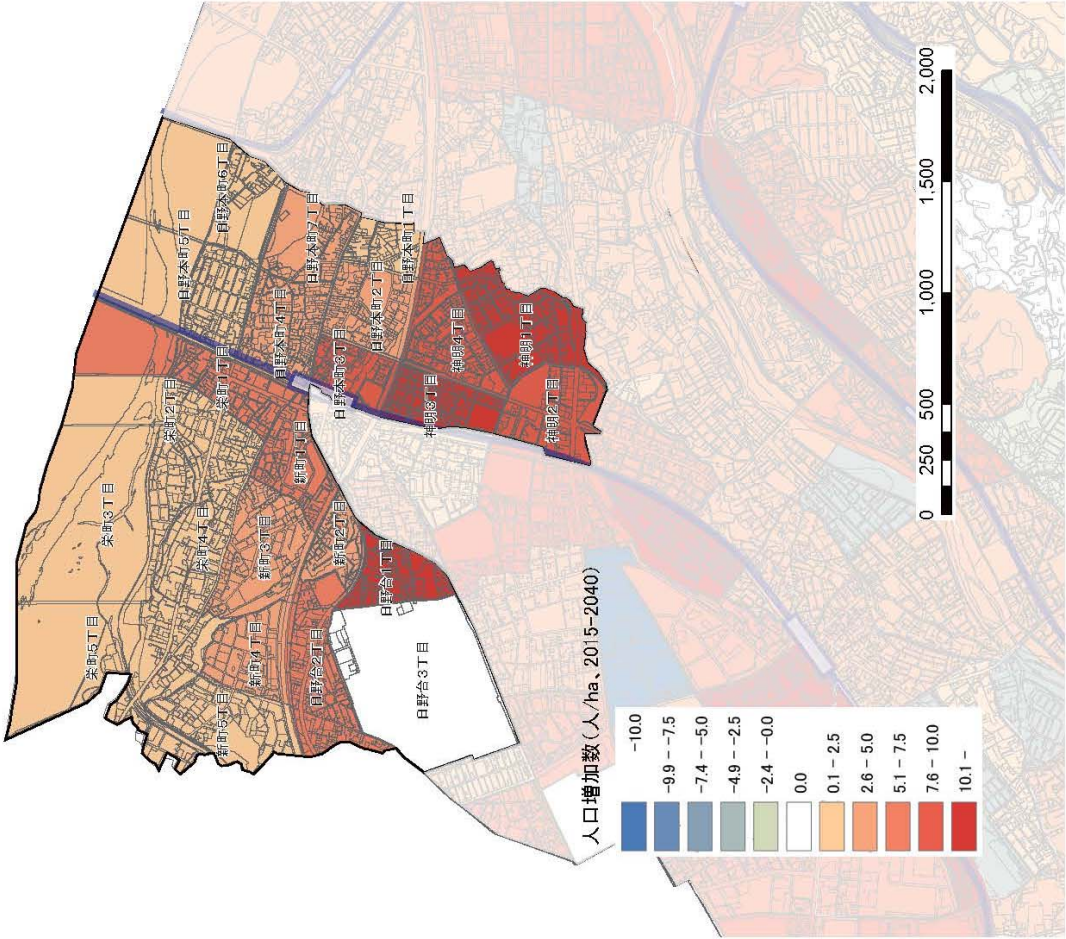
■ 暮らしやすさ



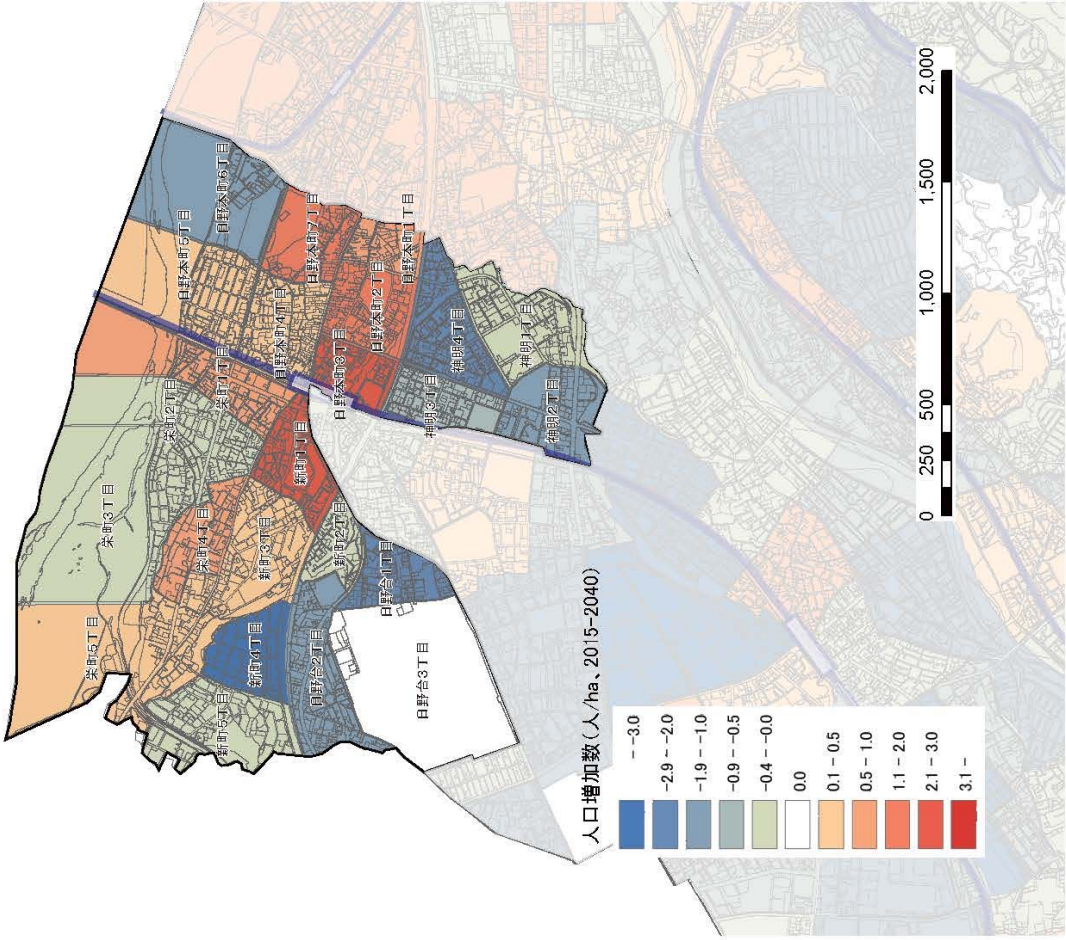
■ 安全な暮らし



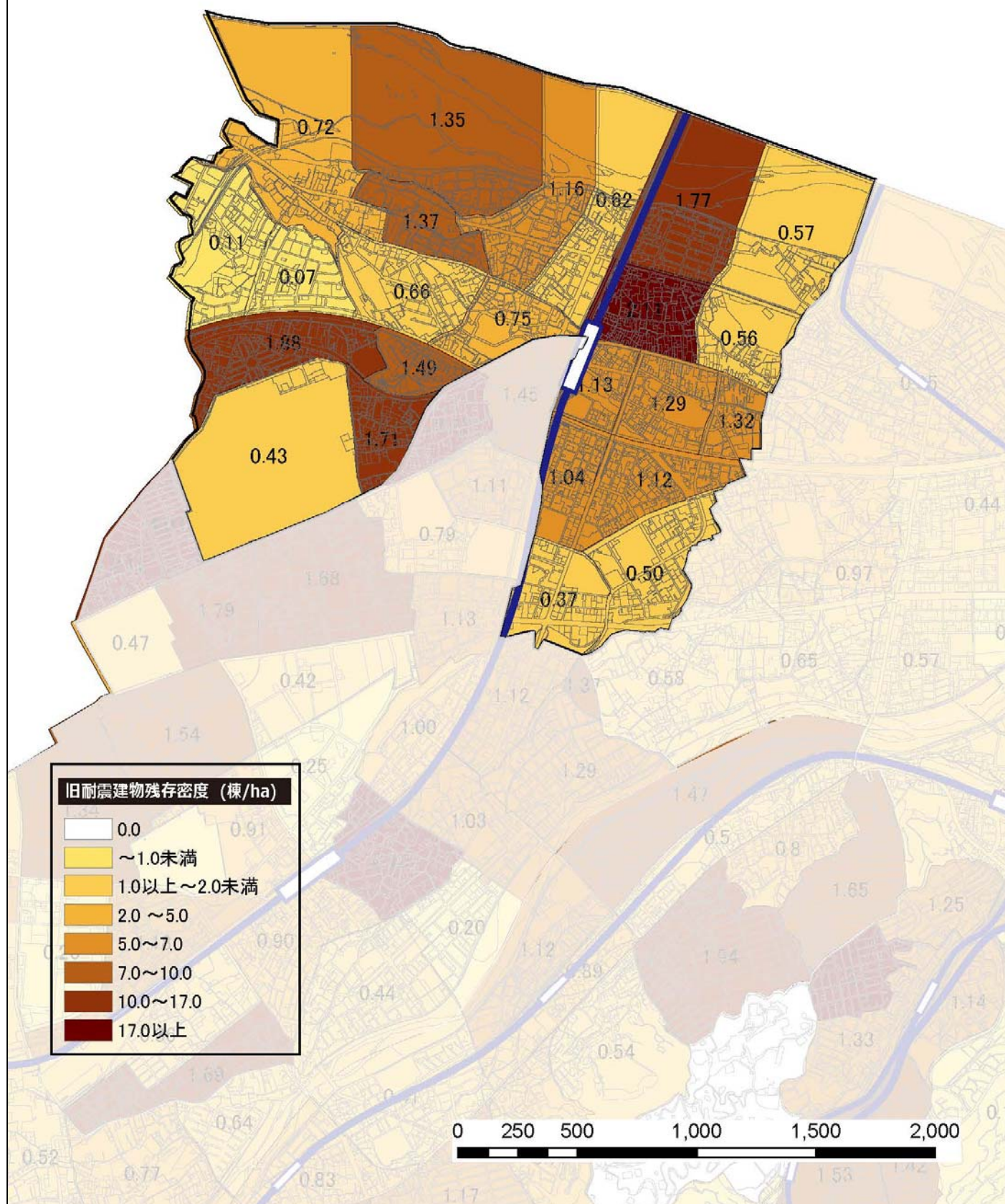
■ 75歳以上人口増加数（2015～2040の推計）



■ 6歳未満人口増加数（2015～2040の推計）



■ 安全な暮らし<旧耐震建物密度>



【検討結果】

- ・ 検討結果模造紙（例：ひのせせらぎ 4 班）
- ・ 検討結果まとめ ひのせせらぎ（①班～⑥班）
- ・ 検討結果まとめ とよだ（A 班～E 班）
- ・ 検討結果まとめ たかはた（①班～⑥班）
- ・ 検討結果まとめ ひの多摩川苑（1 班～6 班）
- ・ 検討結果まとめ ひらやま（1 班～6 班）

ひのせせらぎ【①班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■地域の人口動向</p> <p>○せせらぎ圏域では10年で高齢化率が17%から22%に増加。 ○徘徊行方不明者も年々増加傾向にある。年間10件くらい増えてきている。 ○日野台2丁目は、高齢者人口が多いと感じる。 ○神明は高級住宅地。元々1件の敷地が分割されて2～3件の住宅が建つ傾向がある。ただし坂道が多く、歩くのが大変。</p> <p>■高齢者の入居施設</p> <p>○特養老人ホームは満床。介護職員の不足で入れないケースもある。 ○市内に良い老人ホームがなく市外のホームへ行く人もいる。 ○老人ホームの申込みをして、まだ入所していない人も多い。 ○ケアマネの担当エリアがあり、要支援の方が娘さんの近くに行けないなど、介護サービスに使いにくい部分がある。 ○良い介護士さんの取り扱い合戦になっている。 ○老人ホームの適正な建設と運用が課題。費用対効果を考えた施設計画が必要。</p>	
暮らし やすさ	<p>■高齢者の居場所の減少</p> <p>○日野本町4～7丁目（駅東口・北側）には社協のミニサロンや認知症カフェなどがある。 ○日野本町1～3丁目・神明（駅東口・南側）には、高齢者の居場所がない。 ○駅東口・南側で空き家を活用したサロンは実現せず。 ○自治会館がなくなり、交流館を使っている。 ○保健センターのプールがなくなり、水中ウォークができなくなった。利用者は東部会館へ行っているが、遠くて料金もかかる。 ○高齢者の交流の場が無くなりつつある。</p> <p>■交流、集える場所</p> <p>○住民が集まる公共施設としては、児童館や公民館、保健センターや福祉センター。児童館や地区センターでは健康体操を行っている。 ○福祉センターのお風呂は多くの人が集まり交流の場となっている。 ○お店でいえば、マックやサイゼリア。ミストをよく使っていたが無くなってしまった。買い物はいなげやをよく利用する。 ○コンビニ（ミニストップ）前の椅子とテーブルは良く使う。 ○小学校の校庭解放「ひのっち」で子ども相手のボランティアをしている高齢者の方もいる。 ○通学路での交通安全のボランティアなど、もっと高齢者の活躍の場があると良い。</p>	<p>■居場所づくり</p> <p>○高齢者の集まれる場所がほしい。（特に駅の東口・南側） →おしゃべりができる場、話合いのできる場がほしい。 →100円でコーヒーが飲めるカフェのような場がほしい。 ○学校など、子どものいる場所に、高齢者の集まる場を併設するとよいのでは。 ○児童館を、児童+高齢者の居場所にしてはどうか。 ○高齢者の方が「ひのっち」などのボランティア活動にもっと関わると良い。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■栄町1～2丁目</p> <p>○狭い道が多く、ブロック塀も多い。</p> <p>■避難所・避難場所</p> <p>○ハザードマップをみると、安心して逃げ込める場所が少ない。 ○東光寺小は避難場所だが、土砂災害の危険性が無いか確認したい。</p> <p>■ご近所とのコミュニケーション</p> <p>○自治会でのコミュニケーションも不足しがち。昔は当たり前だったが、今は子ども会もない。 ○ご近所との普段からのコミュニケーションが大切。 ○自治会によって、高齢化の状況や自治会の加入率に差がある。 ○立川在住だが、水の確保や安否確認などの自治会の仕事もある。10年前、ご近所で始めた古新聞収集をきっかけに。今はご近所の方と雪かきもやっている。</p> <p>■災害時の支え合い</p> <p>○要支援者の単身高齢者や障がい者のマップやリストはある。 ○見守りが必要な人には、たとえ本人が望んでいなくても対応しないとイケない。 ○個人情報の壁や、個人個人の意識の壁がある。</p> <p>■その他</p> <p>○防災無線が聞こえづらい。</p>	<p>○ブロック塀の点検が必要。特に小中学校の通学路。 ○危険なブロック塀について、市民からの情報提供を募ってはどうか。 ○周辺の住民で道路のゴミ拾い等をやるべき。地域交流につながるきっかけとなる。</p>

ひのせせらぎ【②班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■地域の実態</p> <p>○自治会がしっかりしていて、住民同士の助け合いの関係が強い（日野台1・2丁目辺り）</p> <p>○新しい住宅が増えており、自治会にも若い方が多い。（新町4・5丁目辺り）</p> <p>○入退居のサイクルが早い。（日野駅周辺）</p> <p>○土地の価格が高く、親元を離れて出て行ってしまうと、戻ることが少ない。その結果、地域のつながりが無くなっていってしまう。（日野駅周辺）</p> <p>○高齢者が増えており、空き家も多い印象がある。（神明周辺）</p> <p>■大学との関係</p> <p>○かつては大学生も多くまちに活気があったが、失われつつある。</p> <p>○昔は学生と地域との繋がりがあった。</p>	<p>○駅周辺など、地域のつながりが希薄になりつつある場所に、住民同士で触れ合える場所をつくる</p> <p>○高齢者の居場所づくり（神明周辺）</p> <p>○新しく地域に入ってきた方が、コミュニティに入りやすいような工夫が必要</p>
暮らし やすさ	<p>■買い物環境</p> <p>○新町周辺はコンビニくらいしか店がなく、ヘルパーに買い物をお願いしている高齢者も多い。</p> <p>■土地の高低差による影響</p> <p>○神明の人は、坂道の影響から日野駅周辺ではなく豊田駅周辺へ行く傾向がある。</p> <p>○日野駅から市役所までの坂がきつく、高齢者はタクシーで行かざるをえない。</p> <p>■自転車交通</p> <p>○自転車レーンの整備が進んでいる一方で、整備箇所が適切か疑問な部分もある。</p> <p>○自転車の利用者が増えているが、交通ルールを守る必要がある。</p> <p>■サイン計画</p> <p>○モノレールの甲州街道駅を降りても案内板が少なく、来訪者などが道に迷っていることがある</p> <p>■福祉</p> <p>○訪問診療専門の医者がいるなど、日野市は在宅ケアに対するサポートが充実していると感じる。</p> <p>○在宅ヘルパーの数は不足していると感じる。</p> <p>○在宅ケアの需要は、当事者がその状態になったときにその都度方針を判断するので計りかねるが、需要が増したときにも対応できる体制を作っておくことが重要である。</p> <p>○日野市は坂も多く、訪問ヘルパーは車の移動が多いが、駐禁も厳しく困っている。</p>	<p>○行政サービスは利用しやすさが重要なため、駅周辺に支所を作る</p> <p>○案内板の作成</p> <p>○訪問ヘルパーが一時的に駐車できるような仕組み作り</p>
安心 できる 暮らし	<p>■水害対策</p> <p>○ダムが作られてから、多摩川は水害が減った。住民もあまり心配はしていない。</p> <p>■地域の防災対策</p> <p>○自主防災組織の立ち上げが進み、避難所開設のための会議をしている。（東光寺小学校？）</p> <p>○新坂下地域の自治会は防災対策が進んでいる。</p>	<p>○防災をきっかけとした地域のつながり作り</p>
まとめ	<p>①地域のつながりを守るための仕組みや、居場所づくり</p> <p>②地形を考慮し、市民が行政サービスを受けやすくするための工夫（支所を増やすなど）</p> <p>③在宅ケア需要の増加を見越した体制づくりや、それに伴う交通ルールの整備</p> <p>④地域の防災活動をきっかけとしたつながり作り</p>	

ひのせせらぎ【③班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■建物の状況</p> <p>○新町5丁目で40-50年前に開発された所は空家が増えている。</p> <p>○2,3階建の賃貸も増えている。将来が心配。</p> <p>○新町1丁目マンションが増えている。25年先には高齢化。オートロックなので中が見えない。</p> <p>■コミュニティ</p> <p>○オートロックのマンションでは、住民と話がしづらい。(居留守を使う人もいる)。</p> <p>○分譲マンションは人の入れ替わりが少ない。</p>	
暮らし やすさ	<p>■日頃の外出、居場所</p> <p>○栄町1丁目では高齢者が多く手押し車で出てきているが、休める場所がない(ウェルパーク近くの用水路)。</p> <p>○用水に屋根付き小舟が置いてあったが、いつの間になくなった。ボランティアのおじいさんが手入れをしていた。</p> <p>○栄町2丁目の昔の栄町サービスセンターは日野らしい風景。</p> <p>○栄町1丁目の水路沿いに木製の柵をいい感じで直してくれた。</p> <p>○散歩時の熱中症が心配。通りには日よけが少ないのでファミマやいなげやで休憩しながら歩いている。ベンチやイスなどもほしい。</p> <p>○バス停には日陰がなく、バスの遅れも多い。</p> <p>○バスで豊田、立川(電車)、八王子やイオンモールに行く人が多い。</p> <p>○「いなげや」の休憩所で休んでいる。他にももっと増やして。</p> <p>○イオンモールのフードコートでみんなが集まっている例がある。</p> <p>○「さかえや」と「とんでん」もよく使われている。</p> <p>○元気なお年寄りが集まれる施設が市内にないので、立川とか他でお金を落としている。</p> <p>○集会所など公共施設は使い勝手を良くして。PC予約は大変。</p> <p>■道路の課題</p> <p>○多摩大橋への通りは、古くからの道路で段差が大きい。また、道が広くなっても、お年寄りでは手で車を止めて渡ってしまっている。</p> <p>○日野新町郵便局の前など、用水に蓋をした道路では段差が多く危ない。</p> <p>■噴水や水辺の施設</p> <p>○仲田の森の水遊び場には団体で来ている。</p> <p>○水遊びできる噴水が昔はスポーツ公園にあったが今はない。</p> <p>○日野市は(水の施設など)危ないと言われるとすぐ止めてしまう。</p> <p>○期間限定でいいから、水施設を復活させてほしい。</p> <p>○今のお母さんは、ららぽーと(立川)に行ってお母さんの水遊びをしている。多摩平のイオンモールにもある。</p>	<p>■いこいの場</p> <p>○コインランドリーがお年寄りの憩いの場になってサロンのようになっている例がある。日野にはまだないが、ランドリーカフェができると交流の場になるのでは。</p> <p>■道路</p> <p>○押しボタン信号を設置できればお年寄りも渡りやすいのでは。</p> <p>■水辺の活用</p> <p>○川も活用できるといい。清流のまちなので。</p> <p>○湧水は、日野らしさをアピールできる。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■避難関連</p> <p>○栄町3丁目の浸水予想地区にはお年寄りが多い。雨の中、小学校まで避難できないのではないかな。</p> <p>○給水拠点は知っておきたい。</p> <p>○日野市でも新しめの公園には、かまどベンチがある。</p> <p>■緊急連絡</p> <p>○ケアマネには台風時などに市から注意喚起のメールが来るが、具体的に何をしたらいいかわからない。</p> <p>○市の緊急メールは、やり方が分からないと高齢者が言っていた。</p> <p>○自治会で取り組んでもらえるといいが加入率が下がっている。</p> <p>■その他</p> <p>○新町5,6丁目では、塀が多いので安心できない(中が見えない)。</p> <p>○30年ほど前、雨の時に取水口を閉め忘れ、水があふれた。</p> <p>○地震で万一大河内ダムが決壊したらどうなるのか。</p> <p>○ダムが無かった時は川幅いっぱい水面だった。</p> <p>○東光寺地区では、水害を恐れてうなぎは食べないという言い伝えがある。</p>	

ひのせせらぎ【④班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■新町1丁目</p> <p>○新町1丁目、2丁目地区は子どもが少ない。公園は高齢者がグラウンドゴルフなどで使用している。</p> <p>○新町1丁目は、通学する小学校を第三小学校と東光寺小学校の2校から選択できるが、第三小学校までは坂がきついため、ほとんどの子どもが東光寺小学校へ通っている。</p> <p>■新町4丁目</p> <p>○新町4丁目は、子どもが減ってきているが、農地⇒宅地という流れがあるため、今後子どもの数は増えるのではないかと見られる。</p> <p>○新町4丁目の自治会役員の平均年齢は50歳。</p> <p>■日野本町5丁目</p> <p>○四ツ谷の集合住宅には若い世代が多く住んでいる印象。</p> <p>○日野本町5丁目は、生活は不便ではない。住宅も更新されており、新旧の住人が混ざっている地域。</p>	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <p>○栄町2丁目の地区センターでは認知症カフェを運営している（珈琲や軽食を販売）。利用者は主に地域の方だが、市外からも来る。40～60名程が集まる。運営者の声掛けが非常にほっとする。珈琲が美味しい。</p> <p>○栄町2丁目の都営団地の1階を自由スペースとして開放しており、お話しスペースとして活用されている。運営メンバーは6名程度。地区センターで同じことができると良い。</p> <p>○日野本町では縁側カフェを運営している。地区センターでも運営できると良い。</p> <p>○日野本町1丁目2丁目はカフェ等の落ち着ける場所がなく、高齢者の居場所が少ない。</p> <p>○地区センターを活用したカフェなど、多くの取り組みがされているが、情報が入って来ない地域もあるため、その点は課題である。情報を入手できない方も多くいる。</p> <p>○新町4丁目は、七ツ塚公園やファーマーズセンターがあるため、暮らしやすい地域である。ただし七ツ塚公園は木陰が少なく夏場は少し過ごしづらい。</p> <p>■交通便利性・買い物</p> <p>○栄町は、ウェルシアやsun smile ができて便利になった。</p> <p>○新町5丁目は、交通の便が悪くスーパーも無いため買い物に不便である。今後の生活が心配。コメリができたが、スーパーが良かった。</p> <p>○新町1丁目は、生活はそこまで不便ではないが、坂や階段が多いため高齢者は少し大変かもしれない。</p> <p>○ミニバスはノンステップではないため、高齢者が利用しづらい。バスの運転手に声を掛ければ乗車時の補助をしてくれるが、申し訳なく思ってしまう方は遠慮して利用せず、結局タクシーを利用する。もう少し利用しやすくなるような仕組みを考え、利用する際の気持ちのハードルを下げられると良い。</p> <p>○日野駅にEVが必要。階段上がるのが大変である。</p> <p>○日野駅周辺は、居酒屋は多いが家族でご飯を食べる場所や落ち着けるカフェ（ファストフード含む）等が無い。ミスタードーナツが無くなったのもショック。駐車スペースが少ないことが要因の一つかもしれない。</p> <p>○ファーマーズセンターで販売している野菜の種類に偏りがあるため、品数が増えるともっと使いやすくなる。</p>	<p>■居場所づくり</p> <p>○新町4丁目にカフェなどの居場所ができると、もっと暮らしやすくなる。</p> <p>○将来の生活を考えると、高齢者だけでなく、子育て世代や若い世代が将来まで使い続けられるような居場所が必要。</p> <p>■買い物不便地域の解消</p> <p>○日野自動車の跡地活用について、スーパーや商業機能が整備されて、周辺の買い物不便地域を解消できると良い。また、銭湯などがあると市民の憩いの場にもなる。</p> <p>■バスボランティア</p> <p>○ミニバスの乗降時のバスボランティアを促進できると、高齢者も気軽に利用できる。</p>
安心 できる 暮らし	<p>○中央自動車道より北側には給水拠点が無いため、災害時には中央自動車道を越えなければならないが、陸橋等が倒壊した場合は越えることができない。対策を考えておく必要がある。</p> <p>○団地が多く、高齢化しているため避難は課題である。</p> <p>○災害時に市民主体で避難所の運営ができるかが課題。</p> <p>○自治会未加入者が多いことは課題である。</p>	

ひのせせらぎ【⑤班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■リタイア世代の暮らし</p> <p>○フィットネスなど気軽に健康づくりができる場所があれば良い。（立川の民間施設を使っている）</p> <p>○70代男性は、それぞれの趣味で市外のイベントなどに行く人が多いが、地域の集まりには参加する人が少ない。</p> <p>○70代男性の居場所を作っても積極的に参加する人は少ないのではないかと。（現役時代の誇りが高い人が多い）</p> <p>○70代男性に地域との関わりを持ってもらうには、役割を与える等が必要。（進んで参加しないので）</p> <p>○地域の見守り活動をしてくれる男性がいない。</p> <p>■子育て環境</p> <p>○他市では音楽大学生が子供向けコンサートをやっている。実践女子大等の学生が子育て世代向けのイベントができないか。</p> <p>○七小はクラスが増えているので子どもが増えているのではないかと。</p> <p>■介護が必要になったら</p> <p>○男性が介護をしなければならなくなった際、包括に相談に行く人は少ないのでは。そういうことを知らない男性高齢者も少なくない。</p>	<p>○70代男性が地域に関われる仕掛けが必要（役割を与える等）</p> <p>○子育ての助けになるようなイベントなどを、地元大学生と連携できないか。</p>
暮らしやすさ	<p>■居場所</p> <p>○交流センター・地区センターはあるが、既に予約が一杯の場合が多い。使い方のルールが厳しくて使いにくい。</p> <p>○市役所の市政図書館は高齢者の居場所として使っている人が多い。</p> <p>○図書館は居場所として快適だが、話ができないのでカフェを併設する、話をして良いエリアをつくる等、行きやすくすれば良い。</p> <p>○多世代交流の場が必要（保育園と高齢者が気軽に行ける集会所等）</p> <p>○市役所周辺には意外と居場所が少ない。ファミレスやカフェなどがあればよい。</p> <p>○ラジオ体操が終わった後に気軽に朝食が取れるカフェがほしい。</p> <p>○神明には空き家が増えている。活用して居場所づくりができないか。</p> <p>○高齢者の地域デビューのし掛けが必要。</p> <p>○イオンのゲームセンターやファミレスなどが高齢者の居場所になっている。</p> <p>■移動サービス</p> <p>○福祉事業で移送サービスもやっているが、ドライバーの高齢化など人が居ないのでサービスを増やせない。</p> <p>○地域のリタイア層を移送サービス等の地域事業に有償ボランティアで参加してもらいたい。</p> <p>○他市では妊婦専用のピンクタクシーがあり、安心して利用できる。また、子どもの多い世帯向けの送迎サービスもあったら便利。</p> <p>○バスルートが変わった（日中と朝夕で）ので不便になった。（日野ー高幡のバス、市役所周辺のルート）</p> <p>○日野から高幡まで散歩する人もいるが、帰りはバスになる。坂道を歩くのはつらい。</p> <p>■商業・買い物</p> <p>○日野台や東光寺西部は近くに食料品を買える場所がない。</p> <p>○日野自の跡地には、ショッピングセンターやレストランなど拠点的な商業施設を望む。</p> <p>○日野駅周辺は地形の関係もあり使いにくい。</p> <p>○日野駅に駅ビルを作って買い物等ができるようにしてほしい。</p>	<p>○空き家を活用した居場所づくり</p> <p>○公共施設の使い方を柔軟にして行きやすくする。</p> <p>○市役所周辺など人が集まる場所にカフェなど</p> <p>○福祉に関する移送サービス需要は高まるが担い手がない。地域のリタイア層が有償ボランティア等で関われないか。</p> <p>○日野台や東光寺に食品が買えるスーパーが必要</p> <p>○日野駅を利用しやすく、駅ビル等買い物の便利な駅に</p>
安心 できるくらし	<p>■健康</p> <p>○公園に高齢者向け運動器具を設置する等で介護予防になる。他市でも事例が増えている。</p> <p>○ウォーキングをするが、百段階段や角上魚類の裏の高いブロック塀などの危ない場所が心配。</p> <p>■緑・環境</p> <p>○多摩川沿いや市役所周辺の桜の木を切ってしまった。緑は残す</p>	<p>○健康増進ウォーキングは今後も増える。歩きやすい道と途中で休める居場所を組合せる。</p> <p>○日野は緑の都市なので、自然・樹木・緑はできるだけ残す。</p>
まとめ	<p>①日野駅を利用しやすく、買い物もしやすい駅に</p> <p>②地域の人たちが気軽に行ってくつろげる場所をたくさん作る（公共施設の使い方を柔軟に、民間施設を誘致、空き家活用）</p> <p>③リタイア層が地域で活躍できる役割を与える（有償ボランティアなど）</p> <p>④歩きやすい環境づくり（安全で快適なウォーキングルート＋途中で休憩できる居場所）</p> <p>⑤多世代が交流できる場、事づくり</p>	

ひのせせらぎ【⑥班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■高齢者を中心とした居場所</p> <p>○あったカフェや認知症カフェ（えんがわ）等、地域の高齢者が集まることのできるカフェがある。高齢者のみが対象ではないが、若い世代はなかなか入りづらい。</p> <p>○世代を超えた利用はなかなか出来ていないのが現状。</p> <p>■地域のイベント</p> <p>○一方で自治会のおまつりなど地域のイベントは盛ん、世代を超えて参加できるので交流も広がりやすいのでは。</p> <p>○住民の高齢化もありどこも人材不足、担い手がいないと継続が難しい地域も。</p> <p>■居場所づくりのきっかけ</p> <p>○高齢の男性が引きこもりになりやすい傾向、男性も外に出やすくなるような居場所作りも必要。</p> <p>○そもそも認知症を含めた病気や障がいを持っても活動に参加できるということを周知する必要がある、居場所の維持も健常者だけでは難しくなってくると思う。</p> <p>○機会と場所がそろわないと一歩目を踏み出すことが難しい</p> <p>○公園清掃ボランティアなど、共通の目的があると参加しやすいのでは。</p> <p>○多摩川一斉清掃は男性の参加が少ないが。</p> <p>○学校の花壇の管理を学校の支援のもと実施している、地域の小学校なども今後有効な活動の場（居場所）になっていくのではないかと。</p> <p>○近所の公園など、「身近な場所」で居場所が作れるとよい、この地域では日野駅周辺がそうした場所として最も適当だと思われる。</p> <p>■地域の居場所の今後の展開</p> <p>○認知症支援の件数が増えることで今後対応が難しくなる、一方、朝食や家族での食事が困難な子供たちが増えているなど「個食」がクローズアップされている。</p> <p>○「食」（に関する活動支援や居場所作り）を通して、地域がつながるきっかけになるのでは。</p> <p>○市民活動としてのボランティアのあり方も再考しては、すべてがボランティア（対価を顧みない）より、活動に対する対価がある方がやりがい、生きがいにもつながる。</p> <p>○現状では社協の介護サポーター制度がある、介護に限らず幅を広げていくことが重要。</p> <p>○元気な高齢者、子育て中のママの空いた時間にこうした活動に充てて、活動するとポイントがもらえるような仕組みにする、ポイントを地元農家の野菜と交換できるとか、経済の循環、貢献を考えても良いのでは。</p>	<p>○地域のイベント（自治会のおまつりなど）を通じた幅広い世代の交流の創出。</p> <p>○公園や地域の小学校など、住民にとって身近な場所に誰もが参加しやすい居場所をつくる。</p> <p>○日野駅周辺整備による新たな居場所の創出。</p> <p>○「食」を通じた交流活動支援や居場所作りの検討。</p> <p>○市民活動の参加に対しポイントを付け、さらにその点数で地元野菜と交換できるなど、地域の経済も回るような仕組みの検討。</p>
暮らし やすさ	<p>■誰もが使いやすい道路の環境づくり</p> <p>○日野台や神明の高台の道路の幅員が狭いうえに急坂なので介護サービス等の提供にも支障がある。</p> <p>○団地内でも勝手に駐車ができない、事前に警察に許可をもらうのを一つ一つ訪問先で行うのも現実的ではない、しかも駐車時間にも制限がある、介護サービス車両にやさしい制度があるとよい。</p> <p>○狭い道路空間をうまく利用して、きれいな街並みになるよう工夫できるとよい、歩きやすいまちづくりが必要。</p> <p>■身近な休憩スポット</p> <p>○坂の多い高台では買い物に行くまでの身の回りの道路、バス停にはベンチなどの座る場所があるとよい。</p> <p>○浅川はベンチ等の休む場所が設置されているが多摩川にはそういった場所が少ない（→河川の管理が違うことも要因）。</p> <p>■バス交通など</p> <p>○高台ではバス停から自宅までが遠く起伏もある、買い物帰りには重い荷物を持って坂の上り下りが辛い。</p> <p>○ミニバスはルートが決まっているので、こうしたニーズには答えにくい部分もある。</p>	<p>○幅員の狭い道路が集積する地域は、地権者など地域で協力をいただき、空き地、遊休地、駐車場などを活用してスペースを捻出できるようなルール（協定）の検討。</p> <p>○坂道の多い地形を考慮したまちづくりや広場づくりが必要。</p> <p>○まちなかでは企業や店舗に用地提供をお願いしてはどうか。</p> <p>○スーパーから住まいの周辺まで運んでくれる乗り合いタクシー等の新たな交通機関の導入。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■浸水対策</p> <p>○多摩川沿いの低地部分は浸水が想定されているが、近くの避難所（仲田小）は浸水区域内であり、それらを超えて高台に避難しなければならない。</p> <p>■災害時における自治会、地域のコミュニティについて</p>	<p>○地域特性に応じた避難ルートの検討。</p> <p>○浸水時を想定した避難シミュレーションを行う等して検証を行う必要がある。</p>

	<p>○自治会加入率の低さが課題、現状半数程度ではないか、会員の高齢化が進み、役員が決まらないところもある。</p> <p>○防災についての自治会単位でのルールづくりが必要だが、上記の要因もあり自治会だけでは対応しきれない部分も多くなっている、名簿の共有は個人情報保護もあってうまくいかない。</p> <p>○今後は自治会の枠を超えた交流するような形態があってもよいのかもしれない。</p> <p>○かつて水害にあった四谷地区（日野本町5）など、今でも地域のつながりは強いところもある。</p> <p>○日野台団地（の一部管理組合？）では、安否確認で黄色い布を掲示している、自治会組織がしっかりしていればこうした取り組みも可能ではある。</p> <p>○高台の一部地域では大雪の際に交通が寸断されることにより孤立する可能性もある。</p>	<p>○自治会を基本としながら、災害時等は自治会の枠を超えた住民組織等を検討する必要がある。</p>
まとめ	<p>①住民にとって身近な場所に誰もが参加しやすい居場所をつくる（日野駅周辺、小学校など）</p> <p>②坂道の多い地形を考慮したみちづくりや広場（・休憩スポット）づくり</p> <p>③買い物等、住民のニーズに対応した交通手段の検討</p> <p>④浸水時を想定した避難シミュレーション等を踏まえた避難ルートの検討</p>	

とよだ【A 班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■大坂上 2～4 丁目</p> <p>○高齢者は確かに多いが、土地が分割されて新しい住宅が建ち、若い人が増えてきている。</p> <p>○ある駐車場などは分割され、20 棟の住宅ができた。</p> <p>○都営住宅には子どもが少ない。赤ちゃん訪問の機会が未だに無い。</p> <p>■多摩平 7 丁目</p> <p>○建て替えが進み、畑や杉林は減少している。</p> <p>○1 棟が 2～3 棟に建て替わる。2～3 階建て高い建物はできない。</p> <p>○できれば地元で育った人に移り住んでほしい。</p> <p>■小学校</p> <p>○第二中は一時生徒が減ったが、今は増えてきている。</p> <p>○第五小も今は人気があり、生徒数も増えている。</p>	<p>○敷地は細分化されるが、若い人が増えるのは良い。お祭などの行事で賑わいがでる。</p>
暮らし やすさ	<p>○小中学校や病院が近くにあり、住宅地としては便利な地域。</p> <p>■交流の場</p> <p>○全体的に、歩いていける交流の場がない。</p> <p>○児童館が近くにない。</p> <p>○都営住宅には交流のための集会室、談話室があるが、一部のグループしか利用していない。</p> <p>○一軒家を改修したサロン「ひなたばっこ」があるが、知られていない。ちゃんとお知らせをして、知れば使う人はいると思う。地域資源として勿体ない。</p> <p>■買い物・移動手段</p> <p>○駅前のスーパー（おおた、いなげや）に行くために、近くのバス停までは歩いて行き、バスを使う。</p> <p>○地域内にスーパ（おおた、サエキ）もあるが、駅前に行く。</p> <p>○坂道が急なので歩いていけない。駅前まで 10～15 分かかる。坂道なので帰りがきつい。</p> <p>○歩道が狭い。朝は大勢の小学生・学生が坂道を上がってくるので歩きづらい。車やミニバスも頻繁に通過するので怖い。</p> <p>○地域包括支援センターの周辺は近くにバス停が無く不便。</p> <p>○若い人は車を使ってイオンのフードコートに集まる。集まって食事ができる場所は近くにはない。</p> <p>○団地にエレベータがなく不便。高齢者や一人暮らしの方が多い。</p> <p>■公園</p> <p>○公園は多いとは言えないが、しだれ桜のあるような良い公園はある。</p> <p>○昔、多摩川沿い（立川市側）に花時計があった。またつくってほしい。</p> <p>■市内の交通ネットワーク</p> <p>○豊田駅周辺の住宅地から高幡不動への移動が不便。</p> <p>○日野駅からまわって高幡不動駅へ行かないといけない</p> <p>○京王線の方が安いし、早い。</p> <p>○豊田駅周辺から南平方面へアクセスするバスが無いので、路線をつなげてほしい。</p> <p>○豊田～南平間の歩道も整備してほしい。浅川の土手が暗い。学校に川を越えていくのに不便。</p>	<p>■交通手段</p> <p>○バスが少ないので便を増やしてほしい。</p> <p>○実践女子大周りのバス停が移動するともっと便利になる。またはバス停を増やしたい。</p> <p>■交流の場</p> <p>○サロン「ひなたばっこ」のような数少ない交流の場を地域に PR し、活用を促進すると良い。</p> <p>■市内の交通ネットワーク</p> <p>○豊田駅周辺から南平方面へアクセスするバス路線や歩行者ルートを整備してほしい。</p>
安心 できる 暮らし	<p>○日野台 5 丁目には消防車が入れないくらい狭い道路が多い。</p> <p>○豊田 4 丁目の若宮神社の周辺は古い建物が多い。</p> <p>○土砂災害が心配されるのは一部に限られており、台地の大部分の住宅地は安心して暮らせる。</p> <p>○避難上も特に心配な要素はない。高齢者も安心して暮らせている。</p>	

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■建物の状況</p> <p>○多摩平5丁目は戸建て住宅主体で高齢者と空き家が多い。</p> <p>○多摩平1丁目には新しい建売住宅もある。</p> <p>○多摩平2丁目では約650戸のマンションが工事中。</p> <p>○豊田駅の周辺地区では空き家も混在し、建て替わりもある。</p> <p>○南口の通りにはお店しか建てられない制限があるが、勝手に建てている感じもする。</p> <p>■人の入れ替わり</p> <p>○多摩平は全体的に高齢化している。</p> <p>○OURの団地はお年寄りが多いが子どもも増えている（賃貸）。一戸建てを売って入ってきている人が増えている。</p> <p>○クレピア（イオン前のマンション）は子どもが多い。ラグドール、ピークコートにも、赤ちゃん訪問している。</p>	
暮らし やすさ	<p>■集まれる場所</p> <p>○高齢者が集まる場所がない。広い部屋がたくさんあるカラオケルームがあると良い(子どもも音を気にせず遊べる)。</p> <p>○日野自動車の跡地は気になる。</p> <p>○駅前通り沿いにある多摩平の森産業連携センター『PlanT(プラント)』は、個室は有料だがロビーは無料なので人が来ている。</p> <p>○OUR団地の中の「ふれあいサロン」に一般の人は入れないのか？ ⇒入れるが入りづらい。</p> <p>○イオンフードコートなどで涼むお仲間がいる。人が集まる。</p> <p>○駅前通りは、昔は放置自転車多かったが今は有料駐輪場ができています。</p> <p>■バスに要望</p> <p>○バス停が複雑で分かりづらい。遠回りのバスもある。</p> <p>○ミニバスの本数が少ない（この話しは良く聞く）。1時間に1本あるかないか。待っているお年寄りが多い。</p> <p>■南口/買物難民</p> <p>○南口へ行くのに、エレベーターの乗継移動は大変。</p> <p>○南口は買い物難民。大きめのスーパーあるといい。</p> <p>○「地藏宅配」（商店街が運営してる）の利用が多い。</p>	<p>■集まれる場所</p> <p>○日野自動車の跡地は人が集まるような複合施設になってほしい。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■防災対策</p> <p>○多摩平5丁目では古い家が密集しており火事が心配。</p> <p>○全体的にも、空き家があるので火災に注意が必要。</p> <p>○地域で自治会ごとに「防災会」を作っており、毎月話し合いをしている。</p> <p>○自治会は、全体的には活発と思う。</p> <p>○災害時、多摩平の森（団地）では各家にすることが基本。部屋の中の地震対策は必要。</p> <p>○移住者に防災情報どう伝えるかは課題。</p> <p>○「すてっぷ」は、水害が少し心配な場所にある。</p> <p>■道路の課題</p> <p>○日野第二中の南側の道は、朝などに混んでいる。イオンに入る車も来ている。</p> <p>○さくら集会所の裏の横断歩道が怖い。</p> <p>○駅前通りは保育園（プール）の送り迎えの車が混雑する。救急車や消防車が通ることが多い。</p> <p>○豊田駅から北東へ上がる道は通学路だが暗い。雨の日はすべる（坂が急）。</p>	

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■敷地の細分化</p> <p>○多摩平などでは1軒屋がなくなって3件の戸建てになるなど、人口が減っているとは思えない。これは、敷地の細分化により、住環境が悪化する要因となる。</p> <p>■人口バランスが大事</p> <p>○単に人口の増減だけでなく、人口構成のバランスのある地域となることが重要である。</p>	<p>○空き家になっても、次の購入者が表れるが、敷地の細分化にならないよう適切な誘導</p>
暮らし やすさ	<p>■バスルート</p> <p>○豊田から高幡を結ぶバスの便が悪い。</p> <p>○ミニバスのルートはわかりにくく、豊田から高幡まですごく時間がかかる。</p> <p>○京王線と中央線がうまく接続できるようなバスルートが必要。</p> <p>○平山城址公園駅のバスは最終が早く、駅前にタクシーも居ない。京王線から豊田方面への公共交通を再検討してほしい。</p> <p>○OUR団地が建替えられてバスルートが変わった。多摩平6丁目あたりから豊田に出るのはバスが便利だったか使いにくくなった。</p> <p>■豊田駅前</p> <p>○豊田駅前や多摩平は施設も多く住みやすい。</p> <p>○豊田駅の南北は高低差があり、駐輪場の配置（南側から北口の駐輪場に停める場合等）はたいへんなど利用しやすいように考えてほしい。</p> <p>○豊田駅前のファミレスなど、高齢者などの居場所があればよく使われると思う。</p> <p>■日野自の跡地</p> <p>○日野自の跡地に買い物ができる場所を作ってほしい。</p> <p>○市民が集まれる場所や、温泉施設など、高齢者等がくつろげる場所を作ってほしい。</p> <p>■高齢者の居場所</p> <p>○現在は図書館などで高齢者が日中に過ごしているケースが多い。</p> <p>○スポーツセンターに通っている高齢者が多い（TOMなど）。</p> <p>○運動、ウォーキングする高齢者は多いが、途中で休む場所やベンチなどがあればいい。</p> <p>■ホテル</p> <p>○日野にはホテルがない。50～60人で集まってパーティができるような場所が必要。（以前豊田駅前にあった「光陽会館（富士電機系）は市民も使えてよかったがなくなった」</p> <p>○OUR団地の建替えで余った場所に検討してはどうか。</p> <p>○高齢者が集まれる場所としても望ましい。</p>	<p>○中央線と京王線の接続など、浅川南北の連絡がしやすい公共交通の再編</p> <p>○豊田駅前を使いやすく、多くの人が集まり過ごせる場所に</p> <p>○日野自動車の跡地は商業施設や人が集まれる施設を</p> <p>○高齢者が集い、歩き、休める場所を</p>
安心 できる 暮らし	<p>■避難場所</p> <p>○中央線南側は浸水の危険性があるが避難場所が必要。（民間施設も含めて避難場所の確保を、「豊かな里」は避難場所になるが、介護の必要な福祉避難所になる。イオンと物資提供の提携をしていると思うが、避難場所としても使えないか）</p> <p>■川の活用</p> <p>○浅川に沿ってバーベキュー広場やディキャンプのできる場所があればよい。</p> <p>○「川の駅」など、サイクリングのベースになる施設があればよい。</p> <p>■日野台4丁目</p> <p>○日野台4丁目は、道路が狭い、空き家が増えている等、住環境・防災・防犯の問題を多く抱えている。</p> <p>【火葬場】</p> <p>○現在の火葬場は小さくて需要に対応できていない。新しい火葬場が必要ではないか。</p>	<p>○中央線の南側に避難場所を確保</p> <p>○日野台4丁目の住環境の改善</p> <p>○浅川を活かした市民や市外からの人々の交流の場を</p>
まとめ	<p>①豊田駅を利用しやすく、多くの人が集まれる場所へ</p> <p>②浅川の南北をつなぐ公共交通の整備</p> <p>③高齢者が、いつまでも元気でいられるような、健康・コミュニティに配慮した「場」を（健康、趣味、集まる場所、安全で快適なウォーキングルート＋途中で休憩できる居場所）</p> <p>④浅川を活用して、市内外の人々が楽しめる場所へ</p> <p>⑤豊田・多摩平は施設も多く暮らしやすい。この環境を引き続き活かしていく。</p>	

とよだ【D班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■豊田4丁目</p> <p>○子どもが少なくなり、子ども会がなくなってしまった。逆に3丁目は子ども増えている。</p>	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <p>○豊田4丁目のシルバーサロン「じぞう宅配便」では、囲碁や手芸等のクラブ活動を行っており、高齢者の居場所となっている。利用料は1日200円で飲み物も飲み放題。</p> <p>○南口にはイベント等が開催できるスペースが無い。</p> <p>○豊田駅北側にはイオンや児童館があるが、豊田駅南側には、子育て世代がゆっくりできる場所が少ないため、居場所に困っている。</p> <p>■交通利便性・買い物</p> <p>○東豊田4丁目は、水や緑が多いため、自然は豊かであるが、一方でハケ（崖線）に挟まれている地域では買い物が大変である。公共交通の便も悪い。</p> <p>○東豊田3丁目は公共交通の便が悪いため、タクシーで移動している方が多い。</p> <p>○公共交通（バス）については、今の時代元気な高齢者が多く、ある程度の年齢までは車を運転するため、公共交通を充実させても利用者は増えない可能性がある。</p> <p>○豊田駅の東西にある踏み切りは、開いている時間が短く非常に不便である。</p> <p>○豊田3丁目の西側の交差点は、交通量が多く、右折するのが大変である。右折信号が必要ではないか。</p> <p>■その他</p> <p>○今後各地で火葬場の確保が課題となる。</p>	<p>■居場所づくり</p> <p>○じぞう宅配便のような施設が地区内に複数個所あると地域の方の居場所にある。</p> <p>○多世代が利用できる場づくりが必要。サロンや公園を整備できると良い。</p> <p>■交通利便性の向上</p> <p>○南口の区画整理により、東豊田4丁目を始めとする不便地域の交通利便性が向上すると良い。駅前と地域を連絡するバスが整備されると良い。</p>
安心 できる 暮らし	<p>○東豊田4丁目は、ハケ（崖線）があるため、避難が課題である。また、密集している住宅地であるため、火災の危険性もある。</p> <p>○災害時の水の確保という視点では、給水拠点が多くに無いため、井戸を活用するなど、対策を検討する必要がある。</p>	

とよだ【E班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■世代を問わず利用できる居場所が豊富にある (豊田駅周辺)</p> <p>○豊田駅前には病院もスーパーもそろっていて環境は恵まれている。</p> <p>○利便性からマンションが増加しているが保育園が少ないかも。</p> <p>○イオンがこの地域の居場所として一番利用されているのではないかと、雨もしのげるし、フードコートが充実しているので地元の方が集まってお茶もしやすい。</p> <p>○公園が多くあることもよい、また第八公園などトイレが設置されていることも助かる。</p> <p>○児童館は30年の歴史がある。中高生によく利用されている。中学生が下の子供の面倒を見ることも。小学校の放課後利用「ひのっち」もある。</p> <p>○駅周辺にスポーツクラブが出来、地域にとって便利な施設ということで良く利用されている。</p> <p>○スイミングスクール等の子供たちの送迎の車で周囲が渋滞することもある。</p> <p>(旭ヶ丘)</p> <p>○旭ヶ丘中央公園は地域の憩いの場となっている。付近には新しくできた地区センターや図書館もあり、公園と一体で利用されている。ひかりの家(社福)の運営するカフェも併設。</p> <p>○公園は街灯が少なく夜真っ暗になってしまう、駐在所もあるが防犯上心配。</p> <p>○市境にあるスーパー三和にもカフェや休憩のスペースがある。</p> <p>(空き家を居場所として活用)</p> <p>○これから増加するであろう空き家を活用していけるとよい。</p> <p>○市でも空き家を活用して老人の居場所としていく仕組みを作っていく方向で考えている。(市)</p> <p>【交通機関の改善】</p> <p>○人口の減少により交通機関の維持も工夫が必要なのではないか。</p> <p>○市境に居住している人は八王子～豊田～日野を結ぶようなバス路線があると便利である。</p>	<p>○駅前や市民がよく使う公園などの公共施設を中心とした、誰もが利用しやすい居場所の創出。</p> <p>○今後増加する空き家を地域の方が利用できる居場所にしていくことが必要。</p>
暮らし やすさ	<p>【地形上の課題など】</p> <p>○かつては浅川から豊田駅南口にかけて浸水したこともあったが区画整理事業により改善している。</p> <p>○旭ヶ丘小学校裏など一部でがけ地も見られる。</p> <p>○浸水、急傾斜地等の課題はこの地域では少ないのではないかと。</p> <p>【住環境上の課題】</p> <p>○住宅地内の一部で管理がなされていない空き家も出始めている、多くは地主の高齢化による施設入居等が原因と思われる。</p> <p>○(大阪の地震発生を受けて)通学路上にブロック塀のある箇所があり、点検が必要である。</p>	<p>○通学路等を中心としたブロック塀の点検、除去などの取組が必要。</p>
安心 できる 暮らし	<p>①豊田駅周辺や旭ヶ丘など、身近な公共施設等が多く居場所として活用されている</p> <p>②誰もが利用しやすい居場所を今後作っていくなかで、今後増える空き家も活用の選択肢となりうる</p> <p>③身の回りの住環境(空き家やブロック塀等)を確認、点検し災害時の対応を考えておく必要がある</p>	

たかはた【①班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■程久保 2・3丁目</p> <p>○程久保 2 丁目より 3 丁目の方が住宅が増えている印象がある。</p> <p>○安く戸建を建てたい人のニーズには合っている。</p> <p>○2 丁目・3 丁目の間の坂道は明星大へのメインストリート。</p> <p>○町内には明星大の学生用のアパートがある。</p> <p>○昔は明星大の学祭の際には通りが賑わったものだが、正門が無くなったため、学生の減少が進んだ。酒屋やコンビニも無くなった。</p> <p>■地域全体</p> <p>○人口が減り、お年寄りも減っている。子供が戻ってこない。</p> <p>○一つの更地が分割されて 2 軒の新築住宅ができる。若い人は増加。</p> <p>○30 代、40 代が住宅を購入して住んでも、40 年後にはまた高齢化の問題が出てくる。</p> <p>○立川・多摩には、働いている女性が多い。働く女性の場合（テレワークができる環境づくり）も必要。</p>	<p>○いろんな世代の人がバランスよく住んでいる住宅地にしたい。</p> <p>○若い人が住んでみたいと思う魅力づくりが必要。</p>
暮らし やすさ	<p>■買い物</p> <p>○いなかや、巡回スーパー（移動販売）の利用率は高く、利用者は増加している。</p> <p>○京王ストアの配送サービスも利用されている。生協のネット販売もあり便利だが、外出しなくなるとい問題もある。</p> <p>○バスで高幡不動駅や豊田駅へ出るが、帰りはタクシーを使う。</p> <p>○スーパー（おおた）で買い物をする。イオンへは車で行く。</p> <p>■交通手段</p> <p>○程久保 2・3 丁目にはかわせみ号のピストンルートがあるが、いつも満員。</p> <p>○多摩平方面へのアクセスが悪い。</p> <p>○高齢者にとって交通手段の確保は大きな課題。</p> <p>○ボランティアタクシー、介護タクシーが増えると良いが、保険料の負担がネックとなる。</p> <p>■交流の場</p> <p>○地域全体に、子どもの遊べる場所がない。</p> <p>○都立公園は暗くて入りづらい。</p> <p>○程久保 2・3 丁目は近所づきあいが盛んで、結びつきが強い。</p> <p>○明星大の学生ボランティア部も参加している。</p> <p>【ふれあいサロン】</p> <p>○交流の場としてサロンはあるが、利用者は周辺住民に限られる。</p> <p>○サロンの利用率はエリアによって差がある。（程久保、アムール、百草、あじさい、南新井）。</p> <p>○ふれあいサロンアムールは空き家を活用している。自治会の要望があり、個人が動いて実現した。</p> <p>○サロンにこない人が問題。そういう人をどう引っ張り出すか。場所の工夫とネタの工夫。孤立の防止が大きな課題。</p> <p>【高幡台団地】</p> <p>○73 号棟が解体され、団地内のスーパーや商店が無くなる。</p> <p>○高幡台小学校の跡地を活用したい。</p> <p>【高幡図書館】</p> <p>○図書館の利用者には高齢の男性が多い。</p> <p>○立川の図書館では漫画が読めるので子供が多い。</p> <p>○図書館近くのコンビニ跡地に何か施設が建たないか。</p> <p>■住み替え</p> <p>○丘陵部の住宅地から、程久保駅前のマンションに住み替えた方がいる。</p> <p>○高齢になると、斜面地から平地への住み替えを考える。</p>	<p>■移動手段・交通手段の確保</p> <p>○高低差があるのでエレベーターやエスカレータをつけてほしい。</p> <p>○高幡不動駅から高幡図書館を経て高幡小跡地（日野市教育センター）へのルートにエスカレータがほしい。</p> <p>○ボランティアタクシー、介護タクシーの保険料を市が負担（助成）する。</p> <p>■交流の場づくり</p> <p>○高幡台団地の 73 号棟を、幼児からお年寄りまで集まれる交流の場へ。</p> <p>○高幡小跡地の有効活用</p> <p>○高幡図書館を使いやすくする。</p> <p>→人が集まる工夫（例：カフェの併設）</p> <p>→小さい子供やお母さんが集まる工夫（例：マンガ図書室）</p>
安心 できる 暮らし	<p>○この地域は、災害時に多くの住民が孤立する危険性がある。</p> <p>○京王線北側（三沢 4・5 丁目）は道路が狭く、災害時に線路を超えての避難が困難。高架の倒壊も心配。多摩動物園に避難するしかない？</p> <p>○程久保 2・3 丁目から第三中に行くには崖を越えなければならず、階段を上るのが困難。坂道も障害になるため、地区住民は災害時に第三中には行かないだろう。</p> <p>○南側に抜ける車のルートはある。</p>	

たかはた【②班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■地域の実態</p> <p>○高齢者の訪問は増えているが、赤ちゃん訪問の件数は減っている。（三沢１・３丁目周辺）</p> <p>○駅周辺の整備が進んでおり、住みやすくなっている。そのため、成人してから戻ってくる子育て世代も増えている。（百草駅周辺）</p> <p>○親から住宅を相続して戻ってくる若い世代も増えているが、ディベロッパーに土地が売られて、農地が宅地化されていっている実態もある。昔から住む人たちはそれを望んでいない。（くらさわ周辺）</p> <p>○三沢二丁目の西武住宅辺りは、二世帯住宅が増えている印象がある。</p> <p>○独居の高齢者が多い。（百草南部）</p> <p>○高齢になると、便利な聖蹟桜ヶ丘周辺のマンションなどに転居される人も多い。</p> <p>○百草駅南部は高齢者も元気な方が多く、若い人も増えている。</p> <p>■地域の活動</p> <p>○梅が丘地区センターで地域活動は行われているが、参加者が少ない。道が狭く、交通が不便なため、高齢者は現地まで行くのが大変である。</p> <p>○地域の活動は活発だが、子育て世代は誰かが家にいないといけないため、参加の機会が奪われている。</p>	<p>○子育て世代が集まれるカフェなどの居場所づくり（百草駅周辺）</p>
暮らし やすさ	<p>■買い物環境</p> <p>○かつては移動販売もあったが、最近は減ったように感じる。（三沢周辺）</p> <p>○スーパーヤマザキは行くのに不便で、利用者が減ってきている。</p> <p>■住民が使える広場づくり</p> <p>○警察の無線所の跡地があり、眺望が良い。</p> <p>○空間の整備も必要だが、活用方法について地域で考えることも重要である。</p> <p>■交通環境</p> <p>○三沢地区は道が細く、ミニバスでも通れないような道が多い。そのため公共交通が発達していない。自力で運転できなくなった高齢者には厳しい。</p> <p>○百草駅周辺は道路整備も進んだが、車が止まれる広い空間がない</p> <p>■子育て環境</p> <p>○通学路が防犯上安全か、心配がある</p>	<p>○百草からヤマザキ周辺まで直通のバスルートをつくる</p> <p>○ウォーキングルートの整備の一環として、広場を整備する</p> <p>○ワゴンタクシーなど、地域で公共交通を補完する仕組みづくりや担い手の確保</p> <p>○タクシープールの整備（百草駅周辺）</p> <p>○地域での子どもの通学の見守り活動</p>
安心 できる 暮らし	<p>■災害時の対応</p> <p>○狭い道が多いため、災害時の避難に不安がある。高齢者の避難は特に難しい。（三沢周辺）</p> <p>○個人情報の管理が厳しく、住民の情報を集約するのが大変である。</p> <p>■防災の担い手</p> <p>○若い人が少ないため、防災の担い手不足が深刻である。（三沢周辺）</p> <p>○地域の防災活動の際に、豆腐屋さんが協力してくれる。地域にこのような方がいると、防災活動も活発になる。（百草駅南部）</p> <p>○子育て世代が増えてきており、PTAも防災活動に協力している。（百草駅南部）</p> <p>■水害</p> <p>○台風のと き など大雨が降ると、浸水しているエリアがある。（百草駅北部）</p>	<p>○防災の担い手やキーマン探し</p> <p>○民生委員がキーマンとなる</p>
まとめ	<p>①子育て世代の増加に併せた居場所づくりや公共空間の整備</p> <p>②細街路の多い地域への交通対策</p>	

たかはた【③班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>○三沢地区は坂が多く出不精になる。特に夜は人通りが少ない。</p> <p>○三沢5丁目や程久保8丁目は、空き家が多い。親の代は子どもが戻るのを期待しているが、子どもの代は坂が多いので帰ってこない。</p> <p>○この地域では全体的に子育て世代が少ない。</p> <p>○市が整備できる土地が少ない。</p> <p>○大字新井には、新しく戸建て住宅が10件くらい建った（2.3年前）。</p>	<p>■生活支援</p> <p>○ヘルパーさんによる買物支援やスーパーの配達サービスの充実。</p> <p>■跡地での新施設づくり</p> <p>○百草にはURの職員住宅3棟の跡地がある。</p> <p>○百草台小、高幡台小の跡地を活用してほしい。</p>
暮らし やすさ	<p>■交通利便性</p> <p>○高幡→帝京大のバスの便数が減った。学生が多すぎて住民は途中で降りづらい。</p> <p>○日野駅や豊田駅の周辺施設へ行くバスが少なく不便。ミニバスは40分に1本で、混雑が酷い。</p> <p>○買物難民であり、高齢者でも車を運転しなければならない。</p> <p>■買い物利便性</p> <p>○お店が少ない（立地できる土地がない）。</p> <p>○高幡台団地のスーパーがなくなって後に誘致した100円ローソンしかない。しかし少量販売があるので高齢者には良い。</p> <p>○百草台団地のスーパーの跡地も何とかしてほしい（「ふれあいサロン」は実施している）。</p> <p>■医療</p> <p>○入院できる病院が無い（以前には総合病院を造る話があったが中止になった）。</p> <p>○駅の北口周辺から南口や豊田へ移ったお医者さんが多い。</p> <p>○市立病院へ行くにも不便。</p> <p>■その他</p> <p>○市内の南北問題（格差）があり、南側の地域にも大きなホールがほしい。</p> <p>○市全体としてスポーツ施設が周辺市より貧弱と思う。</p>	<p>■交通利便性</p> <p>○ミニバスの本数を増やす方向で検討をしている（道が狭い箇所がありバスの大型化は不可能）。（市）</p> <p>■買い物利便性</p> <p>○拡幅中の川崎街道にお店を誘致できたら良い（しかし、アクセスしづらいので良くない、という意見もあり）。</p> <p>■その他</p> <p>○高幡台団地73号棟の跡地に健康増進施設への要望がある。</p> <p>○スポーツ施設の整備には小学校跡地などを活用してほしい。</p>
安心 できる 暮らし	<p>○この地域には耐震性がない建物が多い。個人宅が多いのでなかなか対策できない。</p> <p>○三沢5丁目には古い建物や急坂が多い。</p> <p>○川崎街道の百草団地入口の南東側には、防空壕が残っている。 ⇒市では毎年、少しずつ埋めている。</p> <p>○程久保橋の周辺では道路が川になってしまうことがある。</p> <p>○大震災時などに、多摩動物公園の動物は大丈夫なのか。</p>	

たかはた【④班】

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>○大字新井の都営日野新井団地では、高齢化が進んでいるが、子育て世代も増えているため子どもの数も多い。</p> <p>○三沢1丁目は、6歳未満の人口が増加する推計となっているが、新しい住宅を整備する土地も少なく、新しい集合住宅も無いため疑問である。</p>	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <p>○都営日野新井団地の集会所が手狭である。団地の更新と併せて、団地内に複合機能が配備されるように東京都へ打診できないか。</p> <p>⇒現時点では、集会所の他、公園、保育園が整備される予定である。今後更に協議を進めていく。(市)</p> <p>○高幡不動尊の歴史性を大切にしながらまちづくりを進めるべきである。現在は活かしきれていない。</p> <p>■買い物・交通利便性</p> <p>○都営日野新井団地周辺にはスーパーが無いため不便である。コンビニで買い物をする高齢者の方が多い。</p> <p>○三沢、百草は買い物に不便な地域であり、高幡不動駅前まで買いにいかなければならない。</p> <p>○三沢、百草は公共交通も不便であり、利用者も増加傾向にあるため整備すべき。</p> <p>⇒子どもが塾へ通うための交通手段としても活用されており、現在アンケートを実施中である。整備できればと考えている。(市)</p> <p>○三沢、百草については、交通不便地域を解消するための方策として、自動運転を導入する地域として考えられないか。</p>	<p>■居場所づくり</p> <p>○三沢、百草の辺りにサロンやお風呂が入った福祉系の複合施設が整備できると良い。災害時には避難場所としても活用できる。また、施設を整備することで利用者も増えて、公共交通を整備する際の根拠にもなる。</p> <p>■自動運転の導入</p> <p>○三沢、百草に自動運転車を導入し、交通利便性の向上をはかる。</p>
安心 できる 暮らし	<p>○潤徳小学校が避難所に指定されているが、グラウンドの水はけが悪かったりと、とても避難所としては考えづらい。高齢者を始め、地域住民も不安に思っている。高齢者や車イス利用者は、災害時に潤徳小学校が使えない場合に近くの避難場所等へ避難することはできない。</p> <p>○過去の豪雨の際には、災害時の警報が聴こえず、警報を聞き直す際の電話もつながらなかった。地域全体（特に高齢者）に警報を知らせるための仕組みを検討する必要がある。「日野メール」等もあるが、高齢者は利用することが難しいため課題。TV等を活用して発信できる仕組みなどであると良い。</p> <p>○都営日野新井団地周辺で、以前ゾーン30を検討していたが、全然進まなかったため住民は諦めていた。しかし、最近になってゾーン30が推進されることを区報で知って驚いた。区だけで進めるのではなく、もっと地域と連携を取りながら進めるべきである。</p>	

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■北野街道</p> <p>○北野街道は、30年以上前に引っ越したときに拡幅計画があると聞いていたが、やっと今広がっている。</p> <p>○拡幅工事に合わせて、食堂などがなくなった。</p> <p>■住みやすい街である</p> <p>○百草周辺は交通や生活利便施設は、それなりにあるので、住みやすいまちである。</p> <p>○日野市は、今後どのような街を目指すのか。人を集めるようなことをめざすのか？それには高幡不動くらいしかない。</p> <p>○日野は職住近接のまちをめざすのがよいのではないか。</p>	<p>○百草周辺は、生活のしやすい街であり、今後共職住近接の暮らしやすい街で有ることが望まれる。</p>
暮らし やすさ	<p>■バスルート</p> <p>○百草周辺は、買い物や通院など日常生活では比較どこへ行くのも便利である。しかし、市役所など用事があって浅川の北側へいくのは乗り継ぎ・乗り換えが面倒である。</p> <p>○高幡から豊田へは行きにくい。</p> <p>○百草園がある丘陵部の中は、公共交通もなく不便、ここにある地区センターなどへも行きにくい。</p> <p>○日野の南東部は、多摩市の聖蹟桜ヶ丘へ行くほうが近いし便利な場合もある。</p> <p>■医療施設</p> <p>○高幡不動駅周辺にはクリニックなど診療所は多いのだが、入院のできるような大きな病院がない。豊田の市立病院へは行きにくい。</p> <p>○これからの医療は、訪問診療が中心になってくるのではないと思われる。医者が通いやすくなる道路整備と一緒にまちづくりを考える必要がある。</p> <p>■浅川南側の公益施設</p> <p>○市の公共施設の大きなものはほとんど浅川の北側にある。南側の機能を充実させてほしい。七生支所の機能も充実してきているが市役所へ行かなければならない場合もある。</p> <p>○小学校の跡地（教育センターやコミュニティセンターがあるが、坂があって行きにくい。</p> <p>○高幡台団地の73号棟の跡地整備は期待している。周辺の人たちの役に立つ使い方が望まれる。</p> <p>○空き家が増えている。行きやすい場所に公益施設や避難施設を確保する意味で、これらを活用する仕組みを検討してほしい。</p> <p>■農地を守る</p> <p>○日野は自然を楽しみながら歩けるところがよい。</p> <p>○せせらぎ農園は、来年にはなくなると聞いた（周辺の区画整理のため）。これまで様々な活動をしてきたのにもったいない。続けてほしい。</p> <p>○農地の保全は周辺の市民の協力が必要だ。</p>	<p>○浅川南側～市役所や豊田などを結ぶ使いやすいバスルートの整備</p> <p>○丘陵部の坂を考慮した公益施設の配置、特にすぐに到達できる避難場所などが必要。</p> <p>○公共・公益施設の整備にあたっては、行きやすい場所を考えて整備する。</p> <p>○農地を市民とともに守っていく。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■避難場所</p> <p>○浅川沿いは浸水区域が広がっているが、避難場所は2つの小学校しかない。年寄りは遠くへは避難できないので身近な民間施設などを確保してほしい。</p> <p>○落川交流センターは低い場所なので、建物が古いので建替え等に合わせて避難場所の機能を付け加えるとよいのでは。</p> <p>○浸水に関しては高い場所を確保することが必要。民間のマンションなどをI的な避難所にできないか。</p> <p>○程久保川は、以前はよく溢れていたが、改修したので心配はなくなった。しかし、浅川と多摩川との3つの川の合流点は最も危険だ。</p> <p>○地図に緊急避難場所・避難所とそれぞれ2つずつあるがちがいがわからない。定義を明確にしてほしい。</p> <p>■がけ崩れ危険箇所</p> <p>○高幡から南は避難場所へ行くのも坂を登って下ってと大変である。身近にすぐ避難できる場所が必要だ。</p> <p>○今年の4月にがけ崩れ危険箇所の説明（レッドゾーン、イエローゾーン）があった。最近、その場所に10件ほどの家が建てられたばかりである。そのような場所には建てられないようにしどうすべきではないか。</p>	<p>○すぐに避難できる避難場所の確保</p> <p>○崖くずれの危険性のある場所には受託建設を抑制するルールが必要。</p>
まとめ	<p>①高幡を中心とした人が集まれる場所を確保</p> <p>②坂道を考慮した誰もが行きやすい場所に公益施設や避難場所を確保する</p> <p>③学校跡地など大きな公共施設があるが、使い方やアクセス方法を工夫する。</p> <p>③職住近接の暮らしやすい街づくり</p> <p>④農地をできるだけ守り、自然に親しめる環境を、市民も参加して保全する</p>	

	現況・課題	方針・必要な取り組み
暮らし やすさ	<p>■地域内に点在する居場所 (高幡不動駅周辺) ○駅前に図書館があり、周辺にはベンチなどの休憩場所も充実している。 ○新井地区ふれあいサロンは高齢者の利用が多い。 (高幡台周辺) ○湯沢福祉センターでは入浴利用が可能で、休み処があるため、高齢者が多い。入浴が魅力でバスや歩き等で比較的遠くからの利用もある。 ○高幡台集会所では自治会と明星大がコラボしたイベントも行われている、学生カフェ等の試みも行われた。 ○団地内では空き家を活用したサロンが4月にオープンしている(市補助?)。 (百草園駅周辺) ○駅前は道路が狭く、集まれる場所が少ない、喫茶店もない、ファミレスはあったが撤退した。 ○子育てカフェモグモグ(保育+学童預かり)が駅近くにできた。 ○三沢二丁目地区センターは高齢者の利用が多い。 (浅川沿い) ○落川から新井にかけては集まるような居場所がない、バス路線も走っていないし、コンビニもなく高齢者ばかりになっている。 ○市内は不便なので買い物等利便施設の利用は聖蹟桜ヶ丘に出ることが多い。 ○落川公園は用水が流れており、子供たちが水遊びをよくしている。 (百草園駅南側～百草団地周辺) ○百草団地内にショッピングセンターがあるので利便性は悪くない、またふれあいサロンがあり、利用料100円で地域の方に利用されている。 ○サロンではお茶会や歌の会、囲碁等、イベントもよく開催されている。 ○百草(駅南側)は狭い急な坂となっており、その中に住宅が点在。訪問サービスが大変な地域である。バス路線も無し。</p> <p>■誰もが利用しやすい居場所づくり ○居場所を用意しても集まってくる方は同じ顔ぶれが多く、新参は加わりにくい。引きこもりがちなお年寄りも出たくなるようなアイデアがあるとよい。 ○移動販売車を誘致(巡回ルートに加える)したことにより近所の方が販売箇所まで出てくるようになった。 ○スーパーはいなげや、京王ストアが運営しているが、行商のように回っている個人店もあるようだ。 ○公園や地区センター等の公共施設での販売は現在出来ない。</p> <p>■バス交通など ○高幡台などの高台の団地ではバス停が谷間、住宅地が尾根の部分に位置していることが多く、坂の上り下りが辛い。</p> <p>■団地内の空き家、建てられる用途 ○団地内では住宅の建替えが進んでいる一方空き家も目立つようになっている。 ○建てられる用途が住宅用途に縛られているため店舗等の利便施設のニーズがあっても建てられないことが多い。(市)</p>	<p>○駅前や市民がよく使う公園などの公共施設を中心とした、誰もが利用しやすい居場所の創出。 ○利用されている居場所は顔ぶれが決まっており、引きこもりがちなお年寄りも参加しやすいような仕掛けづくりが必要。 ○公園や地区センターなど、公共施設のため販売できないような場所に対し、ルールを定めることで公共施設が販売の拠点になり、併せて人が集まる拠点になるとよい。 ○バス停またはバス停までの経路上にベンチ等の休憩スペースがあるとよい。 ○団地等で住宅専用用途(一低など)における、空き家活用も含めた利便施設の立地可能性検討。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■地形上の課題など ○浅川沿いは昔から浸水被害が発生している、今でも大雨時にマンホールが浮き上がる。 ○落川から新井にかけては戸建が多くマンションが少ない、マンションがあればいざという時に避難も可能になるのではないかな。 ○百草台、高幡台周辺の急傾斜地は大雨が降ると水が出てくることもある。 ○山を削って宅地にしてきた歴史がある、無理をしている部分もあるのではないかな。</p> <p>■災害時における自治会、地域のコミュニティについて ○自治会の高齢化はどれも同じ課題、若い方は入りたがらない ○地域によっては代替わりがうまくいっている例もあると聞いている、加入率も地域差があるのではないかな</p>	<p>○浸水地域におけるマンション上階部分を避難場所として設定できないか。 ○地域のイベントと防災訓練を合わせて行うなど参加しやすい環境を整えることで地域のコミュニティ形成を促すことができないか。</p>

	<p>○自治会の子供会などは存続が危ぶまれるところも出てきている、高幡台や百草団地では子供をほとんど見かけなくなった</p> <p>○落川の交流センターでは防災訓練としてイベントを兼ねた炊き出し訓練等を定期的に行い、子供たちを含め多くの参加がある</p> <p>○自治会活動の枠の中では防災関係の活動が少ない</p> <p>○自治会合同の防災訓練は実施されているが、持ち回りなので開催頻度が少ないのではないかと</p> <p>○自治会に限らず普段からつながりがあった方が、いざという時に連携・行動がしやすい</p>	
まとめ	<p>①高幡不動駅前や高幡台団地、百草団地等で誰もが利用できる居場所が多く提供される一方、浅川沿いや百草園周辺では充実を図る必要がある</p> <p>②引きこもりがちなお年寄りなど、参加しにくいと考える層も参加したくなるような居場所を工夫していく必要がある</p> <p>③住宅専用用途（一低など）における、空き家活用も含めた利便施設の立地可能性を検討する</p> <p>④地域のイベントや防災訓練等の参加を通して住民同士のつながりを維持し、災害時の共助につなげられるとよい</p>	

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■石田</p> <p>○四小や豊田小では子供が増えている。</p> <p>■万願寺3丁目</p> <p>○昔から住んでいる高齢者を抱えている住民が多い。高齢者を支える家族がいて、独居老人は少ない。</p> <p>○グループホームには百草・豊田からの入居相談が多い。</p> <p>■川辺堀之内</p> <p>○まちが便利になってきたが、区画整理で農地や畑は減っている。</p> <p>■地域全体</p> <p>○建売住宅が増え、若い世代や子供は増加している。</p>	
暮らし やすさ	<p>■交通利便性</p> <p>○モノレールの影響が大きい。まちが大きく変わった。</p> <p>○まちがずいぶん便利で良くなってきて現状に満足している。</p> <p>■子供の居場所</p> <p>○子供を見守る目を確保する難しさがある。放課後、まちをうろうろしている子供をよく見かける。</p> <p>○子供には「場」が必要。学校や家庭以外のいろいろな居場所が必要。学校に上手く馴染めない子供が選べる居場所があるのが望ましい。</p> <p>○例えば南平では、地区センターで実践女子大の学生も参加して子供の預かりを行っている。</p> <p>○場所をつくって、必要な人材を社協で整えるなどできると良い。</p> <p>○ひのっちや学童クラブのほかにも、子育てひろば「みんなのはらっぱ」などの活動がある。</p> <p>○グループホームでは会議室などを地域に開放している。</p> <p>■高齢者の居場所</p> <p>○地区センターで敬老会（寿会）の活動が盛ん（カラオケ・踊り）</p> <p>○グループホームに駄菓子屋を設置しているところがある。コミュニケーションの場であり、お年寄りは孫にお小遣いを与えることで自尊心を満たせる。</p> <p>○グループホームなど福祉施設がもっと増えると良い。</p> <p>■歩いて暮らせる</p> <p>○地区内は平地なので、離れていても駅や施設へ歩く人もいる。</p> <p>○ふれあい橋を通して潤徳小学校や高幡不動駅へ行く人もいる。</p> <p>■住環境</p> <p>○日頃の生活に必要な施設が充実している。</p> <p>○程よく緑が多く環境の良いまち。</p> <p>○万願寺中央公園には小さい子供を連れのお母さんがいる。</p> <p>■買い物環境</p> <p>○コンビニを利用する高齢者は多い。1人分の食材などが便利。</p> <p>○アルプスの前（川崎街道）は、歩道が無く狭くて危ない。</p> <p>○角上魚類の前（日野バイパス）は、市内外からの駐車で渋滞する。</p> <p>○バイパス沿いのJAのスーパーも利用する。いなげやはEVが小さく使いづらい。</p>	<p>■子供の居場所</p> <p>○空き家の活用や既存施設の開放による場所の確保</p> <p>○場所を支える人材のマッチング、その制度や仕組みづくり</p> <p>■多世代の集う場</p> <p>○グループホームのコミュニティスペースを開放し子供の集まる場にしたい。</p> <p>○子供にとっての教育、お年寄りにとっての癒し、双方にメリットが大きい。</p> <p>○施設の場の提供・持ち寄りのハード面と、ボランティアやスタッフの支援のソフト面、その両方が必要。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■地域住民での防災対策</p> <p>○万願寺2丁目は400世帯あり、人をまとめるのが大変。</p> <p>○新住民やアパートの方は自治会には加入しない。</p> <p>○万願寺地域では、防災の取り組みを積極的に行っている。</p> <p>■水害対策</p> <p>○避難できる高い建物がない。グループホームでは2階に避難することになっている。</p> <p>○災害時に、グループホームは利用者を守ることと、地域の方を受け入れることの2つの役割がある。</p> <p>○グループホームへの避難は受け入れるが、あくまで場の提供で、利用者以外の備蓄等はないことなど知っておいてもらいたい。</p>	<p>■水害時の避難施設の確保</p> <p>○水害時に避難できる高い建物などの確認</p> <p>○避難できる民間の施設や備蓄の有無などの地域住民への正確な情報提供</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■全体</p> <p>○地域活動の温度差が地域により激しい。</p> <p>■万願寺</p> <p>○大地主が多いが高齢化が進んでおり、手放した土地が宅地開発される傾向がある。</p> <p>○自治会の加入率が悪い。</p> <p>○駅周辺は地価が高い。</p> <p>○戸建てが多い影響か、犬を飼っている人が多い。</p> <p>■万願寺5・6丁目</p> <p>○マンションが多い。</p> <p>○子どもも多く、月3～6件ほどの赤ちゃん訪問がある。</p> <p>○区画整理が行われたが、自治会の区域割が区画整理以前のままで入り組んでおり、交流しにくい。</p> <p>○上記の理由により、自治会加入の意義が低く感じられるのではないか。</p> <p>○住んでいる場所と、自治会の活動場所が離れてしまう。</p> <p>■石田1・2丁目</p> <p>○1丁目は戸建てが多いが、表札がないことがあり、コミュニケーションも取りにくい。</p> <p>○東部会館が地域活動の場になっている。</p> <p>○マンションは転出入が激しい。また、独居の老人が増えている。</p> <p>○自治会は働いている世代が精力的に活動している。</p> <p>■下田市営住宅</p> <p>○高齢化が進んでいる。</p> <p>○自治会が別に存在しており、コミュニケーションを取りにくい。</p> <p>■地域活動の場</p> <p>○サロンひだまりには人が集まる。</p> <p>○万願寺中央公園では一度フェスタが開催され、盛況だった。</p>	<p>■自治会の再編</p> <p>○区画整理後の区域割に対応した自治会範囲の再編</p>
暮らし やすさ	<p>■医療体制</p> <p>○休日診療や夜間救急の受け入れ体制が整っていないのではない</p> <p>か。</p> <p>■交通利便性</p> <p>○豊田へ行くルートが不便である。ミニバスが通るようになったが本数が少なく、バスが来ても高齢者でいつも満員である。(万願寺)</p> <p>○万願寺からは市立病院、イオン、日野駅へ行く人が多い。</p> <p>○元気な人はふれあい橋を渡って、高幡不動まで徒歩で行く人が多い。</p> <p>■買い物環境</p> <p>○いなげやしかない。</p>	<p>■交通利便性</p> <p>○日野駅・市立病院・イオンなど、利用者が多いバス停への快速運転</p>
安心 できる 暮らし	<p>■防災情報の伝達</p> <p>○無線放送が聞き取りにくい。</p> <p>○災害の危険を伝える情報発信は積極的だが、危険がなくなった場合の連絡が御座なりである。安全だということも早く教えてほしい。</p> <p>■水害</p> <p>○避難指示が出た場合でも、実際に避難する人は少ない。</p> <p>○消防団は、サラリーマンの加入が増えているが、災害時にその場にいらない可能性がある。</p> <p>○万願寺で大雨が降った場合には、消防団で土嚢を積みに行く。</p> <p>○大雨の際、高幡不動方面へ登下校する子どもが浅川で被害を受けないか心配である。</p>	<p>■地域の防災活動</p> <p>○高齢者への防災メール登録のサポート</p> <p>○大雨時の、子供の登下校の見守り活動</p> <p>○自治会未加入者に対する防災の普及啓発活動</p> <p>○高齢者でも理解できる安否確認方法の確立</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■ニューロシティ（約 700 世帯のマンション、大字日野）</p> <p>○17 年前に分譲され、少しずつ高齢化している。</p> <p>○最近では親子がマンション内で「近居」する例も出ている。</p> <p>○民生委員が訪問しても、インターフォンでの会話だけの家が多い。</p> <p>○買物や病院に行けない、ゴミ捨てもできない、という相談が来た。</p> <p>■大字日野、大字石田</p> <p>○「万願荘」は自治会がしっかりしている。元は日野自動車の社宅で、みんなが 7773 番地なので戸別訪問時や郵便物は要注意。</p> <p>○四小は児童が増えている。学区が一部変わるという話もある。</p> <p>■万願寺</p> <p>○区画整理地区は、あちこちから集まってきた人が多い。</p> <p>○若い夫婦が家を建てている。</p> <p>■その他</p> <p>○宮地区は、古くからの大きな家が多い。</p>	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <p>○コンビニのイトインの席でお茶しているお年寄りは見かける。</p> <p>○散歩している人はよく見かける。</p> <p>○お年寄りのサロン、えんがわ、ひだまりは使われている。</p> <p>○ニューロシティには保育園用にとってある空き部屋がある。活用できないか。</p> <p>■交通利便性</p> <p>○立川へは行きやすいが、日野駅や市立病院には行きづらい。自動運転が普及するまで 10 年程度の間、どうするか。</p> <p>○甲州街道は、バイパスができて交通量はかなり減った。</p> <p>○多摩川苑の周りには、施設は多いがバスの便が良くない。</p> <p>○お年寄りには、なるだけ運転してほしくない。</p> <p>■交通利便性・買い物</p> <p>○市立病院には行きづらいので立川の病院へ行っている人が多い。</p> <p>○地域内には頼りになる病院・医院が多い。</p>	<p>■居場所</p> <p>○甲州街道沿いにお年寄りのサロンがあるとよい。</p> <p>■交通利便性</p> <p>○ニューロシティの前の道にミニバスが通るとよい。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■水害対策</p> <p>○昔は、水浸しになるような地区にはポンプが置いてあった。</p> <p>○ニューロシティの一角には、スーパー堤防が整備されている部分がある。</p> <p>○萬願寺中央公園が図で白色（浸水しない想定）なのは違和感がある。</p> <p>○地区周辺には 3 階建て以上の建物がほとんどない。</p> <p>○自治会や自主防災組織が動き出している。</p>	<p>■水害対策</p> <p>○ニューロシティの建物に避難できると良いのではないかな。</p> <p>○大雨や大災害の予報が出た段階で、自主的準備をすべき。安全な場所に住む親せきに尋ねてみる等。</p> <p>■防災、その他</p> <p>○四小の防災会は、避難所訓練を半日間やっている。</p> <p>○多摩川苑では「わんわん見守り隊」として、犬の散歩ついでの見守り活動を地域住民にお願いしている。</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■大字宮</p> <p>○生産緑地が多く、宅地化されていないため人口は増えない。</p> <p>■大字川辺堀之内（以下、川辺）</p> <p>○6歳未満が減少する色になっているが、現在は子育て世帯が増えているため、人口が減少するイメージない。</p> <p>■全体</p> <p>○若い世代が少ない。昔は一度家から出て行っても将来的には帰ってくる人が多かったが、今は帰ってこない。</p> <p>○農地が宅地化されることで人口が増えている地域もある。</p>	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <p>○日野も川辺も、歩いて行ける距離に地区センターがない。</p> <p>○施設に通っていない高齢者の居場所（珈琲が飲めて落ち着けるサロンなど）が少ない。</p> <p>○学童保育に通わなくなった小学生（4年生以上）の居場所がない。</p> <p>○川辺では、研修所として利用していた研修所が、区画整理後にコミュニティセンターとして建替える予定。以前は限られたグループが料理教室などで利用しているのみであり、利用しづかったため、誰でも気軽に使える場所になると良い。</p> <p>○生活保健センターでは月1回サロンが開催されている。若い方から高齢者まで幅広い方が対象。ただし複数人で参加するイベントの場合は、頭数を揃えないといけないため、1人では参加しづらい。また、自治会を経由して予約？が必要なため、借りづらい。サロンが開催されていることを知らない方もいる。</p> <p>○家の前のちょっとした段差で休憩している高齢者をよく見かける。また、バスセンター前のベンチで休んでいる方も見かける。</p> <p>○川辺堀之内には児童館が無いので、自転車で日野の児童館を利用している方がいる。</p> <p>○月2回火曜日の午前中～16時で開催されているサロン（歌の会）に参加した際、夏休みだったこともあり、小学生も公園で遊んでいた。子ども達はお弁当を持参して1日外で遊んでいるようであった。声を掛けて一緒に歌を歌ったりしたが、とても楽しい一時であった。サロンに参加している方にとっても子どもにとっても良い時間だったため、そんなコミュニケーションが取れる機会が増やせると良いなと思った。</p> <p>■交通利便性・買い物</p> <p>○川辺には、近くにスーパーが無く、豊田駅まで買い物に行く。バスの本数が1時間／1本であり大変。</p> <p>○川辺では、主な移動手段が公共交通の方は生活範囲が限定される。</p> <p>○ミニバスは便利であるが、ミニバスがどこのバス停を通っているか知らない高齢者も多く、情報入手が課題。</p> <p>○高齢者は、豊田駅のアルプス、元気な高齢者はEPSNのアルプスに買い物に行っている。</p> <p>○病院は豊田のグレース病院を利用している。公共交通の接続の関係上、回り道をしていくことが多い。順路は、川辺堀之内→高幡不動→グレース病院。</p> <p>○日野駅、高幡不動駅の駐輪場が1日単位で利用できる仕組みではなく、契約制のため、気軽に利用できない。昔は1日単位で借りられた。</p>	<p>■みんなの居場所づくり</p> <p>○施設に通っていない高齢者や小学生など、多世代利用できる居場所があると良い。</p> <p>○基盤整備（区画整理など）と併せて地区センターを整備するなど、そういったまちづくりを進められると良い。</p> <p>■気軽に外出できる工夫</p> <p>○高齢者が気軽に歩けるまちになるように、木陰にベンチなどを整備できると良い。区画整理等の際に併せて整備することも考えられる。</p> <p>■子育て世代の暮らしやすさ</p> <p>○子育て世代にとっても暮らしやすいまちになるように、川辺堀之内に児童館を整備できると良い。</p>
安心 できる 暮らし	<p>○以前自治会独自で災害時に要支援者の安否確認をする仕組みづくりをしようとして、まとまらなかった。最近の水害に関するニュースで、普段から安否確認の仕組みづくりをしていた地域が取り上げられていたが全員無事だったとのこと。改めて大切と感じた。</p> <p>○市から任意で受け取れる要支援者名簿は、受け取ると自治会の責任が重くなるため扱いづらい。</p> <p>○道路の上が電線だらけの地域は、避難の際とても不安。</p>	<p>○避難所までの移動手段がない高齢者などへの対応方法を事前に決めておく必要がある。平日の昼間など、いつでも地域にいる方が役割を担う必要がある。助けられる側の準備も必要。</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■万願寺3丁目</p> <p>○外から入ってきた家族世帯が増えている。子どもも多い。</p> <p>○10年前に比べると果樹園が宅地化しているため、今後も増えていくのではないかと。</p> <p>■全体</p> <p>○子どもが減って、高齢者が増えている。</p> <p>○区画整理の影響で家族連れで、戸建てを建てる人が増えた。</p> <p>○新規住民は町会に入りにくい状況になっており、新参者の受け皿がない。自治会や町会に代わるコミュニティ作りの形が望まれる。</p> <p>○年齢や世代を超えた共通点（犬を飼っているなど）を見つけて災害時の話などができる場づくりをしたい。</p>	<p>■コミュニティ形成</p> <p>○町会や自治会に代わるコミュニティの形が必要</p> <p>○新規居住者に対する受け皿としてのコミュニティ</p> <p>○年齢や世代を超えたつながり作り</p>
暮らし やすさ	<p>■公共施設</p> <p>○日常生活で交流センターや地区センターを利用することは少ない。</p> <p>○公共施設に関する情報が入ってこないため、身近な場所とは言えない。</p> <p>■歩きやすさ（歩きたくなるまち）</p> <p>○街路樹が設置されている場所に、ベンチがあると良い。</p> <p>○クールスポットに指定されているコンビニや薬局は、何も買い物をしない時には入りづらい。また、座れるスペースもないため長居することは難しい。</p> <p>■子どもの遊び場</p> <p>○学童が終わった後に子どもたちが集まれる場所があると良い。</p> <p>○子ども遊び方が変わってきている。子ども同士が影響を与え合わないよう、一緒に遊ばせない親もいる。</p> <p>○お寺近くの区民センターは子どもの遊び場になっている。</p> <p>○1人暮らしの高齢者などに対し、外へ出て社会と接する機会を作る必要がある。</p> <p>■その他</p> <p>○電動車いすの充電ができるスポットが限られている。</p>	<p>■休憩場所・居場所</p> <p>○小学生が学童終わりに集まれる場所や、小学生に限らず乳幼児～お年寄りまで一堂に会せる場所があると良い</p> <p>○街路樹のある通りにベンチがあると良い</p> <p>○公共施設がもっと身近な場所になると良い</p> <p>■歩きやすさ（歩きたくなるまち）</p> <p>○まちの利用しやすい施設やベンチのある店舗が、クールスポットになると良い</p>
安心 できる 暮らし	<p>■避難場所</p> <p>○水害時の指定避難場所がない。</p> <p>○3～4階建ての建物が少ない。</p> <p>○特に避難場所に指定されていないが、町会内にある広場を一時避難場所としている。災害時は広場に一度集合し、避難先を検討することになっている。</p> <p>○普段関心の薄い住民の方に、どのように周知すれば良いか検討する必要がある。</p>	<p>■避難場所・経路</p> <p>○地域包括支援センターなどは場所の開放など、地域との連携も視野に入れた災害時の対策を検討する必要がある</p> <p>○避難場所が少ない状況で何ができるのか、住民主体で体制作りを行う</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<ul style="list-style-type: none"> ・モノレールが出来てから、この地域から中央線（立川）、京王線への移動が便利になった ・万願寺、甲州街道の駅前が地価が上昇し、家賃も高くなっている ・宮地区は古くからの地所が多く、将来的に人口も大きな変動は少ないと思う ・日野駅周辺から日野橋を通過して自転車通勤するような交通の流動がある（日野橋が渋滞するため） ・モノレール駅前を中心に新しいマンションが増加し住民が増えている ・しかし、賃貸マンションも多く、ファミリーが越してきても子供が少し大きくなると転居することが多い ・次の住居が見つかるまでの仮住まいのような使い方が多いのでは ・小さな公園はたくさんあるが、子供を遊ばせるような場所が少ないのではないか ・転入者は八王子等が多く、転出は府中・立川等が多く、東に人口が移動している傾向がある 	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区センターや集会所（第1日野万、第2日野万、万願荘など）がある ・まんがんじ児童館では子供たちを対象にしたイベント（盆踊り、もちつき）も行われている ・図書館等の公共施設が無いなど、気軽に立ち寄り、休んだりお茶を飲めるようなスポットが全体的に少ない ・多摩平地区はこうした施設が豊富にあり <p>■自治会等のコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万願寺3、4丁目（旧下田地区）では区画整理の範囲内外でコミュニティに差がある ・万願寺中央公園では子供たちを巻き込んだイベントを盛んに行っている ・イベントを通じた多世代の交流を盛んにしていけるとよい ・半面、子供だけでなく親も交流、遊び慣れしていない ・普段からの地域の声のかけあいも必要である ・子供、親、地域の住民（お年寄り）が一緒に何かする機会をつくっていききたい ・日野バイパスで地域を分断された歴史がある ・日野万地区など、昔からのコミュニティが残り、団結力のある地区もある ・全体に高齢化しているが団結力でカバー、辞めさせないような取り組みも行っている ・防災訓練も地域一帯で行われている <p>■交通利便性など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンモールの買い物に豊田方面のミニバスが便利 ・運行ルートや時刻等の情報が手に入りにくい、時刻表等は市役所や支所にしか置いていない？ ・川崎街道は歩道が狭く歩行者が危険にさらされている ・バス停で待っている際も危険に感じる ・日野橋近くのニューロシティの三叉路、道路開通で便利にはなったが事故が起こりそうで心配 	<p>■居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気軽に立ち寄れるような居場所づくり ○多摩平の施設（イオンモール含む）を参考に <p>■自治会単位の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○色々な世代が集えるような居場所が少なくても、集まるきっかけを創出する ○空き家活用より、今ある緑の資源を活用することが必要、小川や水路を活かした水遊びでもよい
安心 できる 暮らし	<p>■水害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田地区はかつてよく水が出たが、ダム等の整備により昔ほどではなくなった ・浅川は最近、堤防が崩れかかったことがあった ・一軒家がほとんどなので水が出ると被害が出やすい <p>■要支援者の救護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員は要支援者とそのご家庭の事情は把握しているが個人情報でもあるので地域で共有できない ・自治会内では隣組の組単位で把握しているところもある ・どこまでこうした情報を共有していけるか、地域と話し合っていく必要がある ・要支援者を把握していたとしてもどのように動けばよいのかわからない 	<p>■水害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ニューロシティ等に逃げ込めるように協定を結ぶとよいのでは ○個人で出来ることとして、建て替えの際に土地をかき上げたうえ2階建て以上にして予防できるとよい <p>■災害時要支援者対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族により支援の度合いが違っているので、ペアとなる家族を決めて、相互に支援や見

	<p>・支援の度合いによってトリアージしていくことも必要</p>	<p>守ができるような仕組みができるとよい</p> <p>○まずは動けない場合に声の発し方（旗や笛含む）の訓練（自助）、次に異なる事情による様々な助け合い（共助）を取り組む必要がある</p>
--	----------------------------------	---

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■平山地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供が少なく空き家も増えている。 ○6丁目は男女ともに独居老人が増えている ○以前に高齢者が住んでいて、空き家になっていた道路沿いの家は最近新しくなった。 ○高齢者は足が弱くなると、坂道のきつい住宅地から離れてしまい空き家になる。がけ崩れの不安も、人が離れていく要素の一つ。 ○2丁目には比較的空き家は少ない。家の値段が安くなり買いやすくなったせいか、若い方が少し増えてきた。 ○2丁目は高齢者が多いが、見守り委員のなり手がいない。 	
暮らし やすさ	<p>■買い物環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○買い物が不便。高齢者はタクシー利用が多い。 ○高幡不動駅前の京王ストアや南平駅前のヤオコーがある。 ○生協の配達や、京王ストアの配達サービスも利用されている ○豊田駅南口の商店街では、買物代行・宅配サービスがある（豊田じぞう宅配便） ○平山6丁目では加藤商店（市外）も利用される。 ○高齢者はネットでの配達サービスは使えない。 <p>■交通利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワゴンタクシーは特に12時台や土日に運行してほしい。 ○バスの乗降や高齢者の荷物の運搬を手伝おうとしても、断られることもある。 <p>■交流の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひだまりサロンは週4日、お茶会やイベント・趣味の活動を行っている。 ○ふれあいサロンそれいゆは空き家を活用してつくられた。 ○ふれあいサロンはあるが、坂道や段差のせいで、行きたくても行けない人がいる。 ○近所付き合いや親族との交流の無い老人は、見守りも断られる。 ○個人の技術や経験を引き出す「なんでも塾」は高齢男性の参加促進に有効な取り組みである。 <p>■交流施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平山苑地区センターでは、火器の使用が制限されており、お料理教室などができない。 ○エアコンなどの設備も老朽化している。 <p>■公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園の樹木が生い茂り暗い。管理がされておらず入りづらい。 ○昔のように、公園はお祭りにも使われていない。 	<p>■交通利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワゴンタクシーの運行ルート of 拡充や便数の増強 ○ワゴンタクシーの乗り降りや荷物の運搬補助のサービスがあると良い <p>■交流の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今ある公園をリニューアルし、交流の場に再生する工夫をする。
安心 できる 暮らし	<p>■土砂災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平山6丁目近くの裏山で、最近も土砂崩れが起こった。 ○裏山の崖から小石がころころ落ちてくる。 ○防護柵はあるが土石流が心配。 <p>■避難上の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平山6丁目では、まず平山城址公園駅前の出口公園に集合することになっているが、道路が狭く、そこまで歩いて行けない。 ○駅前への避難路が一つしかない。 ○道路が狭く、沿道に大谷石の塀もある。 <p>■自治会での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要支援者の居場所を把握しておくことが重要 ○災害時には要支援者まで手がまわるかどうかかわからないが、訓練や各戸の訪問は行っている。 ○自治会では実際に避難ルートを歩いてみる防災訓練も行っている。 <p>■災害時の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災無線が聞き取れない。 ○スマホで災害情報が提供されるが、スマホを持っていない高齢者もいる。 	<p>■一時避難する場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内に、一時避難ができる広い公園がほしい <p>■正確な情報伝達手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害情報の正確な伝達手段・体制を強化したい ○ガス漏れなどの警報・災害情報を通報する装置があると良い。

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■京王住宅</p> <p>○高齢化が進んでおり、単身の80歳以上高齢者も増えている。</p> <p>■平山六丁目</p> <p>○空き家が増えている。30件ほどあるのでは。</p> <p>○相続のタイミングで新築も出来ており、若い子育て世代も増えている印象がある。</p> <p>○道路が狭いなど交通環境が悪いのは、人口が増えない要因の一つではないか。</p>	<p>◆市街地整備</p> <p>○新しい住宅地が開発されるタイミングで、バスルート等の公共交通を併せて整備する</p>
暮らし やすさ	<p>■丘陵部の交通利便性（平山六丁目）</p> <p>○北野街道へ出ていく道が1本しかなく、その道も狭い。</p> <p>○丘陵部だが道が狭いため、大きなバスが通ることもできず、交通利便性が悪い。</p> <p>○ワゴンタクシーはあるが、利用したい時間に合わない。</p> <p>○土日でも利用できる交通手段が欲しい。</p> <p>■路上駐車対策</p> <p>○区画整理により道路はある程度整備されているが、路上駐車が多く、邪魔である。</p> <p>○駐車スペースがない。</p> <p>■平山城址公園駅周辺</p> <p>○駅周辺も図書館くらいしかなく、お茶を飲むスペースもない。</p> <p>○買い物できる場所はコンビニくらいしかない。</p> <p>■自然環境</p> <p>○滝合の水路は残してほしい。</p> <p>○川沿いの桜並木が美しい。</p> <p>○川沿いの遊歩道が途中で途切れており、散歩できない</p>	<p>◆交通環境</p> <p>○丘陵部から病院へ直通の公共交通手段を整備する</p> <p>○豊田と南平を直線で結ぶ橋を作る</p> <p>○老朽化した橋（滝合橋など）の修繕</p> <p>■平山城址公園駅周辺</p> <p>○人が集まれる喫茶店などのスペースを作る</p> <p>■路上駐車対策</p> <p>○農協と協定を結び、駐車スペースを借りる</p> <p>○川沿いの空き地を、園児の送迎などの一時的な駐車スペースとして活用する</p> <p>■自然環境</p> <p>○川沿いに遊歩道を整備し、散歩ルートの回遊性を生み出す</p>
安心 できる 暮らし	<p>■水害</p> <p>○浅川の水位は以前より低くなっており、水害の危険性はあまり感じない</p> <p>○水害時は平山中の3・4階に避難すれば大丈夫ではないか。</p> <p>■災害対応</p> <p>○路上駐車が多く、緊急車両の通行の妨げになる。</p> <p>○北野街道へ出る道が一本しかなく、がけ崩れなどが起こった場合は孤立する恐れがある。（平山六丁目）</p> <p>■防犯</p> <p>○子どもの通学路が暗く、危ない（平山六丁目）</p>	<p>■災害対応</p> <p>○緊急車両が通れるための路上駐車対策</p> <p>○空き家を活用して地区内に避難場所を整備し、備蓄をすすめる</p> <p>■防犯</p> <p>○危険な通学路への街灯や防犯カメラの設置</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>○南平、平山には大きいマンションは少ない。パークスクエアくらい。市営団地、都営団地（隣接地区）も1か所ずつ。</p> <p>■南平1丁目</p> <p>○かしま台では、広めの1宅地を2,3区画に分けて新築している。</p> <p>○ガーデン54やフォレストエージは地区計画の事例となっている。しかし最低敷地面積の制限があり、1宅地を分割できない。住んでいる人はこの環境を気に入っているが、空き家も目立つ。</p> <p>■南平4丁目</p> <p>○新しい戸建て住宅が建っている。区画整理（？）</p> <p>■南平9丁目</p> <p>○栗林を新たに戸建て住宅にした所がある。坂の上の方。赤ちゃん訪問で行くことがある。</p> <p>○元からの住宅地は地元の人が多く、高齢化が進んでいる。</p> <p>■平山4丁目</p> <p>○新たに住宅開発している所がある。</p>	
暮らし やすさ	<p>■交通利便性</p> <p>○北野街道の南平3,4丁目付近は、北野循環バスが通るのに通過して、バス停の空白地になっている。せめて1か所でも停まってほしい。</p> <p>○しかも南平3,4丁目から南平バス停までは急坂。子どもは泣く。</p> <p>○南平駅にバスが入れないので他駅に行ってしまう。タクシー乗場も遠い。</p> <p>○スーパーのヤオコーとアルプスはあるが、近くにバス停がほしい。</p> <p>■買い物</p> <p>○南平には、高幡へ買い物に行き、帰りはタクシーでという人もいる。</p> <p>○南平9丁目では、豊田や堀之内（多摩市）へ買い物に行く人も。</p> <p>■医療・福祉</p> <p>○福祉施設は増えてきたが、福祉避難所にできる程の施設は無い。</p> <p>○市立病院や大きな病院へ行くのは「長旅」となってしまう。</p> <p>○平山周辺では八王子の東海大病院へ行く人もいる。</p>	<p>■交通利便性</p> <p>○バス停空白地帯への対応。</p> <p>○要支援者が市立病院へ行く際には「ハンディキャブ」がある。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■道路交通</p> <p>○坂が多く、車が無いと生活できない。高齢でも車を手放さない。</p> <p>○狭い道に流入する車が多すぎる（南平9、1丁目）。1丁目は地域外ナンバーの車の抜け道になっている。</p> <p>■避難</p> <p>○水害時には、どこに避難すればいいのか。</p> <p>○避難するにも、足となる手段がない。</p> <p>○高台にある避難場所は（広場なので）屋根が無い。</p> <p>○南平1丁目の地区センターは崖崩れが心配。以前には屋根が壊れた。</p> <p>○アンダーパスは水没が心配。</p> <p>■自治会</p> <p>○日鉱住宅の自治会の加入率は100%近いが、他では5,6%の自治会や解散した自治会もある。アパート住民が入らない例が多い。</p> <p>■ブロック塀</p> <p>○70年代の住宅地には民間のブロック塀がある。空家の塀も心配。</p> <p>○七生中学校のブロック塀は改修予定と書いてあった。</p>	<p>■道路交通</p> <p>○「ゾーン30」を指定すべき。</p> <p>■要援護者</p> <p>○名簿を元にマッチングしている自治会がある。</p> <p>○かしま台はNTTドコモのGPSサービスの検証モデル地区になろうと検討中。</p> <p>■避難</p> <p>○七生中学校では、1,2年生の希望者で宿泊訓練を実施。育成会や自治会、ぴらっと南平も参加した。</p> <p>○南平体育館の検討WSで、かさ上げの希望が出ていた。</p> <p>■ブロック塀</p> <p>○自治会が専門家をあっせんしてくれた（希望者のみ）。</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■南平5丁目</p> <p>○線路沿いから1本入った辺りでは、空き地→新住宅という流れがあるため、居住者は少し増加している。</p> <p>○南平2丁目と3丁目の北側の交差点で朝の交通安全の見守りをしているが、いつも丘陵部の方からたくさん子ども達が下りてくる。丘陵部に子育て世代が多く住んでいる地域があるのでは。</p> <p>■鹿島台</p> <p>○リフォームした空き家に越してくる方がいる。また、敷地面積が大きいので、建て壊した土地が敷地分割されて複数棟家が建ち、そこに越してくる方も少なくない。</p> <p>■全体</p> <p>○南平1～9丁目は高齢化率20%であり、どんどん上がっている。</p> <p>○高齢者夫婦や単身高齢世帯が多く、子どもと同居している家庭は少ない印象。</p>	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <p>○高齢者の居場所が地域にほとんどない。</p> <p>○ふれあいサロンはおおよそ1km圏域の方が利用しているが、遠い方は利用しづらい状況である。</p> <p>○南平1丁目、3丁目にサロンがあると良い。高齢者の外出の機会を増やすためにも必要。</p> <p>○サロンは予約が必要な場所もあり、初めて参加する方にとってはハードルが高いかも。気軽に利用しづらい。</p> <p>■交通利便性・買い物</p> <p>○買い物や飲み会、私立病院へ行く際など、豊田までの移動が大変。バスは1時間1本であり、最終も18時～19時頃である。高齢者はタクシーを利用する方が多い。</p> <p>○南平2丁目、9丁目はバス停までの移動が大変である。</p> <p>○南平5丁目はスーパーも無く、バスもない。昔は商店があったが、経営が難しく、閉店してしまう店が多い。</p> <p>○南平2丁目、9丁目を始め、丘陵部に住んでいる方は交通利便性が悪く、買い物が大変である。</p> <p>○移動販売が普及している。(南平台、見晴らし台、向河原団地地区センター)。民間の引き売りやスーパーの宅配などもある。</p> <p>○南平5丁目の市営住宅には移動販売車が来るため、住人に喜ばれている。</p> <p>■移動環境</p> <p>○南平4丁目、5丁目については、縦の移動が大変である。京王線を縦断できるに陸橋があると良い。小学生の通学も楽になる。</p> <p>○南平4丁目、5丁目の京王線の踏切は一部歩行者しか通れない場所があり、車が通れる踏切が少ない。</p> <p>○浅川沿いの通りはクランクが多く、車で通ることをためらう。</p>	<p>■地域ごとの居場所</p> <p>○高齢者の外出の機会を増やすためにも、地域ごとに居場所を確保できると良い。空き家を居場所として活用することも考えられる</p> <p>■気軽に利用できるサロン</p> <p>○予約なしに1人でも利用できるサロンがあると良い。</p> <p>■豊田までの移動</p> <p>○南平6丁目の辺りに橋ができると、豊田まで移動がスムーズになり、生活が楽になる。</p>
安心 できる 暮らし	<p>■</p> <p>○南平4丁目、5丁目は、縦の避難が大変である。水害の際は南平5丁目の方が南側へ、地震の際は逆に4丁目の方が北側へ避難することが想定される。</p> <p>○緊急避難場所に指定されている日本野鳥の会の敷地は、急傾斜地危険崩壊区域に近いので安全性に不安がある。</p> <p>○災害時には多摩動物園の動物が逃げてくることも考えられる。</p> <p>○ご近所同士のコミュニティはあるため、災害時の地域ごとの対応を決めておけると良い。</p>	<p>■豊田までの移動</p> <p>○京王線を縦断できるに陸橋があると、災害時に安心。</p> <p>■避難時の取決め</p> <p>○水害時に避難させてもらえるお宅を予め把握しておき、取り決めておけると良い。</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<p>■西平山1・2丁目</p> <p>○赤ちゃん訪問の件数が増えており、新しい人が入っている。</p> <p>○全体的に人が増えている実感がある。</p> <p>○子どもが市外に家を持っている場合が多く、親世代が亡くなることで空き家が増加している。活用方法を考えていかなければならない。</p> <p>■東平山1丁目</p> <p>○平山住宅は若い世代も入っている。</p> <p>○若い人はあいさつもなく入居しているため、知らずのうちに入ってきた方が多い。</p> <p>■全体</p> <p>○高齢化率が40%を超え、ほとんどが一人暮らしである。</p> <p>○訪問時は不在の方が多く、外出している場合は良いが、入院しているなどのケースもみられる。</p> <p>○区画整理が進んでいくと、さらに人口が増加するのではないか。</p>	<p>■全体</p> <p>○増加傾向にある空き家の活用方法の検討</p>
暮らし やすさ	<p>■交通</p> <p>○ミニバスは1時間に1本程度しか走っていない。</p> <p>○2035年に整備される道路の沿道に便利なお店が増えると期待している。</p> <p>○現状、買い物や病院に行く際には子どもたちが助けてくれている。</p> <p>○自転車が危ない。狭い道を整備したり、自転車の制限を設けてほしい。</p> <p>■買い物</p> <p>○商業施設が地区内に少なく、豊田駅の北側や八王子まで行くことがある。移動販売もあったが、じきになくなってしまった。</p> <p>○生肉・生魚を売っている店がない。</p> <p>○八百屋はよく使っている。</p> <p>■病院</p> <p>○地区内には小さいクリニックや精神科の病院しかなく、病院も市外や豊田駅北口まで通っている。遠方の病院はかかりつけでないと訪問診療を行っておらず、利用が難しい。</p> <p>○送迎がある病院があると良い。</p> <p>■休憩場所・居場所</p> <p>○バス停に自宅の椅子を持ってきて置いている状況が散見される。ベンチを設置してほしい。</p> <p>○ベンチがなく、休む場所がない。八百屋の店主が車いすを貸してくれたことがある。</p> <p>○歩道脇にベンチや休憩場所があると良い。</p> <p>○夏祭りなど、地域交流ができる場や人材が少なくなっている。</p>	<p>■休憩場所・居場所</p> <p>○歩道脇やバス停にベンチや休憩場所があると良い</p> <p>○子どもの遊び場としての公園があると良い</p> <p>■交通</p> <p>○ミニバスの本数を増やしてほしい。</p> <p>○ミニバスやワゴンタクシーに加え、+αの交通手段を検討する必要がある</p> <p>■買い物</p> <p>○買い物時の交通手段や荷物の運搬などの課題を、地域でどのように解決できるかも検討する必要がある</p> <p>○移動販売するスーパーが必要である</p>
安心 できる 暮らし	<p>■避難場所・経路</p> <p>○避難路が少ない。</p> <p>○とりあえず八幡神社に集まる、というきまりを作っている。</p> <p>○自治会の加入者が減っている。入っていないくても助け合いはすると思うが、日ごろから関係作りができると良い。</p>	<p>■避難場所・経路</p> <p>○自治会などの防災訓練で互助の力を育成していく必要がある。</p> <p>○自治会に加入していない人に対しても、日ごろからの関係づくりができると良い</p> <p>○災害別に対応を考える必要がある</p>

	現況・課題	方針・必要な取り組み
人口 動向	<ul style="list-style-type: none"> ・西平山5（大和田）の自治会はお祭りやイベントが盛ん ・会長職を置かず、合議制としているのが特徴（大和田） ・会長のなり手が居ない地域など、参考になるかもしれない ・豊田団地など、若い世帯が入ってきているところもある ・民生委員による赤ちゃん訪問の回数も増えてきている ・子育て世帯が増えているが、交流が生まれにくい ・若い方は地元で買い物しない（クルマで行けるところへ行く）ためコミュニケーションも生まれにくいのではないかと ・西平山の区画整理により、新しい住宅も増えている ・西平山の区画整理区域内にある農地は平山の方が地主となっていてところが多い ・管理されていない空家が増えつつある ・高度成長期の開発で越してきた方が多いと地域に根付かないのではないかと、また相続もされないことも多い ・平山駅周辺のアパートの空き部屋も増えている、学生・大学の都心回帰も影響か 	
暮らし やすさ	<p>■居場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩平のイオンモールが地域の交流拠点になっている ・何時間も過ごす方が多い ・店内が広く、お年寄りのリハビリにも使われている ・旭が丘中央公園内に地区センター、朝7時から利用でき、お年寄りがよく利用している ・平山駅北側に定食屋＋居酒屋がある、食事の他、日野の地場野菜を販売しており、平山住宅からも買いに来る <p>■買い物しづらい環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買い物依頼を民生委員が受けているが、交通不便で時間がかかることが多く負担も大きい ・自家用車で相乗りする等、近所で助け合って買い物することもある ・高齢者の免許返納のタイミング悩んでいる人も多い、家庭環境や交通利便性の要因もある ・平山駅南側は京王ストアの移動販売がある。 ・西平山は来なくなってしまった。個人商店（八百屋）の巡回は来ることがある ・かわきた圏域は駅がないので、長沼橋をわたって長沼駅を使うこともある <p>■ミニバスの利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニバスは豊田駅方面がメインで、かわきた圏域は京王沿線に出にくい ・ミニバス車両は大型と違いステップがある。乗り降りの際に車高も下らない。 ・小さいがゆえに混んでいることが多く収容力が課題 ・お年寄りは買い物をするため、荷物置き場があるとよい。 ・1時間に1本は少ないと感じるが、お年寄りはいまよくそれを利用してスケジュールリングしている ・時計代わりにもなっている ・方方向の循環線のため停留所の場所によっては長く乗らないといけな面もある 	<p>■利便施設の誘致と居場所の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現状ではイオンモール以外、気軽に過ごせる場所がないが、区画整理とバイパスの整備により沿道に商業施設など利便施設を誘致できるとよい ○利便施設とともに誰でも利用できる居場所ができるとよい ○移動販売の誘致、充実 <p>■ミニバスの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○京王線沿線にも出やすくなるようなルート設定 ○お年寄りが使いやすい乗り降りの工夫がされた車両
安心 できる 暮らし	<p>■水害・要支援者避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西平山の浅川沿いの多くが浸水区域、滝合小は使えないので中央線方向に逃げるしかない ・地震と水害で避難場所が異なるのはわかりにくい ・「かわきた便り」では水害ハザードマップを配布 ・要支援者名簿は作成している、また、要支援者向けの避難訓練も行っている ・災害時は自助＋家族で助け合うことが基本、家族で話し合って対応を決めておく必要がある <p>■避難のタイミング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる方の認識はあるが、警報等に対する判断、タイミングが測りかねる 	<p>■災害対応、避難場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難のタイミング等も含めた災害時避難の方法等、住民への周知を継続する必要がある ○普段使い慣れた場所（居場所）が避難場所になるとよい、商業施設や道の駅に避難できるとよいのでは ○地区センターの建替えに合わせた、避難所機能の付加

	<ul style="list-style-type: none">• 早めに避難ができるよう、決断しやすくするよう後押しも必要ではないか• 要支援者等、すぐには動きにくい「前日」には避難できるのが一番よい• こうした話を含め、住民に周知していくことが必要 <p>■避難場所</p> <ul style="list-style-type: none">• 中央線の踏切があり、災害時遮断機が閉まったままになると行き来が出来なくなるのではないか	
--	---	--